

東証プライム 証券コード4323

開催日：2023年12月8日

2024年3月期 第2四半期 決算説明会

日本システム技術株式会社
Japan System Techniques Co., Ltd.

未来を、仕掛ける。



Contents

I. 2024.3期 2Qサマリー

II. 業績概況

III. 当期業績予想と直近の取り組み

IV. 長期成長戦略

V. Appendix

1. 連結業績 過去業績との比較

(百万円)

	2022.3 2Q 累計	2023.3 2Q 累計	2024.3 2Q	
			累計	対前期比
売上高	10,042	11,004	12,132	+10.3%
売上総利益	2,719	2,927	3,257	+11.3%
売上総利益率 (%)	27.1	26.6	26.9	+0.3
営業利益	992	1,003	1,003	▲0.0%
営業利益率 (%)	9.9	9.2	8.3	▲0.9
経常利益	1,004	1,037	1,008	▲2.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	686	737	651	▲11.7%

	2022.3 期末時点	2023.3 期末時点	2024.3 2Q	
			2Q末時点	対前期末比
総資産	15,539	17,413	18,545	+6.6%
純資産	9,194	10,816	11,116	+2.8%
自己資本比率 (%)	59.0	61.8	59.7	▲2.1
フリーキャッシュフロー	1,082	532	699	+31.4%
現金及び現金同等物の期末残高	6,463	6,793	7,112	+4.7
株価 (期間中最高値、円) ※	1,532	1,804	2,758	+52.5%
時価総額 (期間中最高値、億円) ※	95	224	342	+52.3%
従業員数 (人)	1,448	1,621	1,917	+18.3%

◆業績

- 売上高は前年同期比10.3%増
- 経常利益は前年同期比2.7%減
- 全事業セグメントが前年同期を上回る業績で推移
- 当初計画に沿った先行投資により各利益指標は前年同期比で減益

◆財政状態

- 安定した利益堅持及び良好な手元流動性により、引き続き財政基盤は安定
- フリーキャッシュフローは継続的にプラス推移

◆バリュエーション

- 株価及び時価総額は上場来最高域を推移

◆従業員数

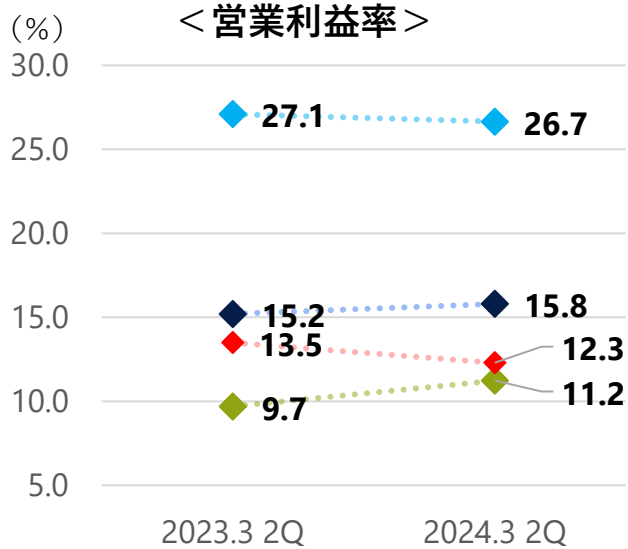
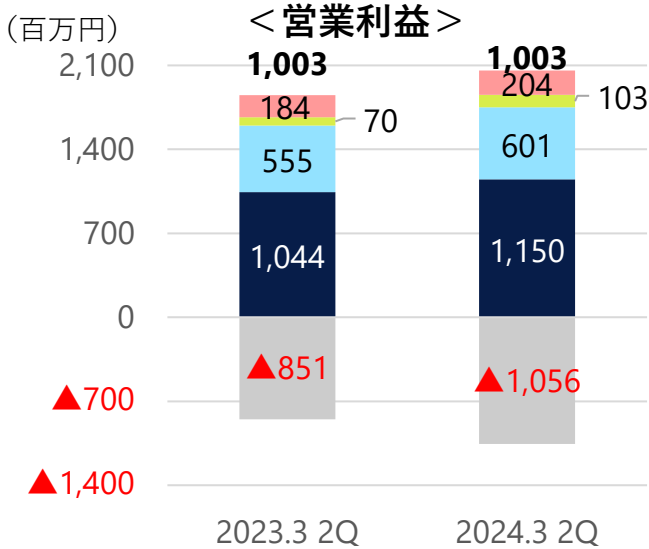
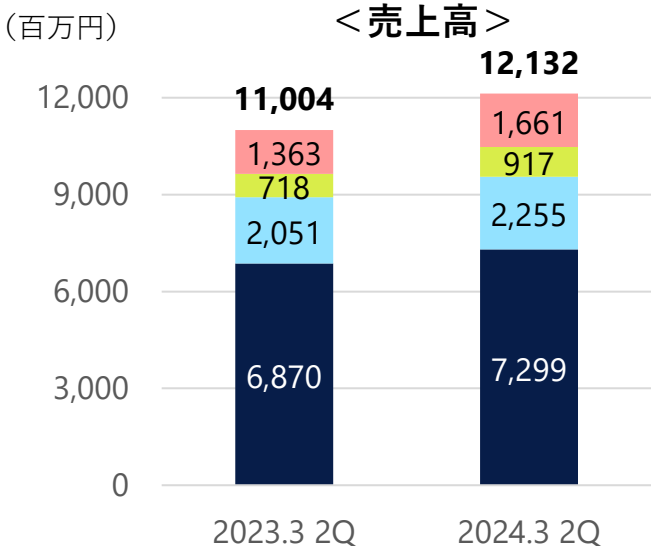
- 新卒採用数は当初計画通り充足
- 受注活況により経験者中心に人材需要増

※株価・時価総額の最高値観測時点：2022.3期は2021/12/9終値、2023.3期は2023/1/30終値、2024.3期2Qは2023/12/4終値

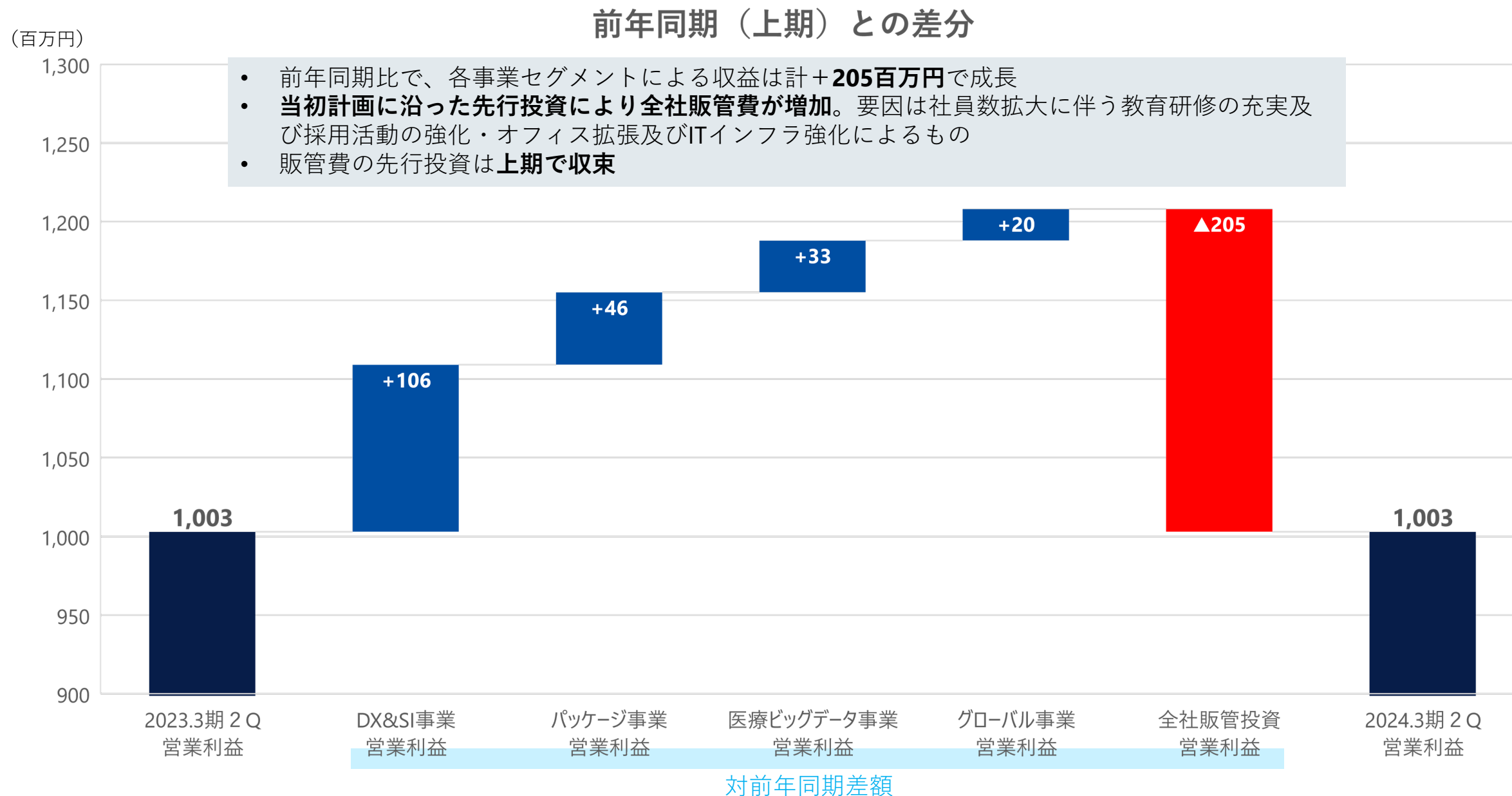
2. セグメント別ダイジェスト（1）事業セグメントの状況

(百万円)

セグメント	事業の状況と増減要因		売上高	営業利益	営業利益率
DX&SI事業	- 新規・既存顧客の大型プライム案件の拡大 - プロジェクトの安定運用による収益性向上	2024.3 2Q累計 対前年同期比	7,299 +6.2%	1,150 +10.2%	15.8% +0.6
パッケージ事業	- GAKUENはPP販売・導入支援サービスが対前年同期比で増収 - BankNeoはPP販売の売上高は微減	2024.3 2Q累計 対前年同期比	2,255 +9.9%	601 +8.3%	26.7% ▲0.4
医療ビッグデータ事業	分析サービス及び保険者業務支援サービス等の高収益ビジネスが増収	2024.3 2Q累計 対前年同期比	917 +27.7%	103 +47.1%	11.2% +1.5
グローバル事業	- マレーシアSAP※¹事業における受注拡大 - タイSI開発案件・ERPパッケージは減収	2024.3 2Q累計 対前年同期比	1,661 +21.9%	204 +10.9%	12.3% ▲1.2



2. セグメント別ダイジェスト（2）前年同期（上期）との差分



3. トピックス（2024.3期以降）

事業活動

- [GAKUENシリーズ新製品「GAKUEN RX 奨学金」を発売](#) [2023/5/9]
- [保険者業務支援システム「iBss」において4つの新機能をリリース](#) [2023/4/14]

株主還元・企業価値

- 時価総額**342億**円に到達し上場来最高値を記録（2023/12/4 終値） [2023/12/4]
- [個人投資家様の当社株式への投資魅力向上のため、株主優待制度の導入及び創立50周年記念優待の実施を決定](#) [2023/11/22]

アライアンス

- [レセプト点検と保健指導の業界大手 株式会社ケーシップの株式100%の取得に向け基本合意](#) [2023/11/30]
- [大学事務業務・教育環境のDXに向け、NTT西日本と大学DX推進に向けた協業を強化](#) [2023/10/5]
- [「SMART BankNeo」と業務デジタル化ツール「POWER EGG」による営業力強化促進のためのシステム連携開始](#) [2023/4/3]

非財務等

- オフィスの生産性・人材交流及びエンゲージメント向上を目的に大阪本社のオフィス拡張及びリニューアルを実施 [2023/10/10]
- [経済産業省「DX認定事業者」の認定を取得](#) [2023/5/10]

Contents

I. 2024.3期 2Qサマリー

II. 業績概況

III. 当期業績予想と直近の取り組み

IV. 長期成長戦略

V. Appendix

1. 連結業績（1）連結損益計算書

(百万円)

	2022.3			2023.3			2024.3	前年 同期比	2024.3 当初予測
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期		通期
売上高	10,042	11,297	21,339	11,004	12,515	23,519	12,132	+10.3%	25,300
売上原価	7,323	8,388	15,711	8,076	9,067	17,143	8,875	+9.9%	-
売上総利益	2,719	2,969	5,688	2,927	3,448	6,375	3,257	+11.3%	-
売上総利益率（%）	27.1	26.3	26.7	26.6	27.6	27.2	26.9	+0.3	-
販管費及び 一般管理費	1,726	1,961	3,687	1,924	2,066	3,990	2,253	+17.1%	-
うち研究開発費	160	276	436	199	270	469	120	▲39.7%	-
営業利益	992	1,008	2,000	1,003	1,382	2,385	1,003	▲0.0%	2,540
営業利益率（%）	9.9	9.0	9.4	9.2	11.1	10.2	8.4	▲0.9	10.0
経常利益	1,004	1,048	2,052	1,037	1,413	2,450	1,008	▲2.8%	2,600
経常利益率（%）	10.0	9.3	9.7	9.5	11.3	10.5	8.4	▲1.1	6.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	686	644	1,330	737	1,035	1,772	651	▲11.7%	1,880
当期純利益率（%）	6.9	5.8	6.3	6.7	8.3	7.6	5.4	▲1.3	7.4
包括利益	706	636	1,342	908	960	1,868	699	▲23.1%	-

1. 連結業績（2）連結貸借対照表

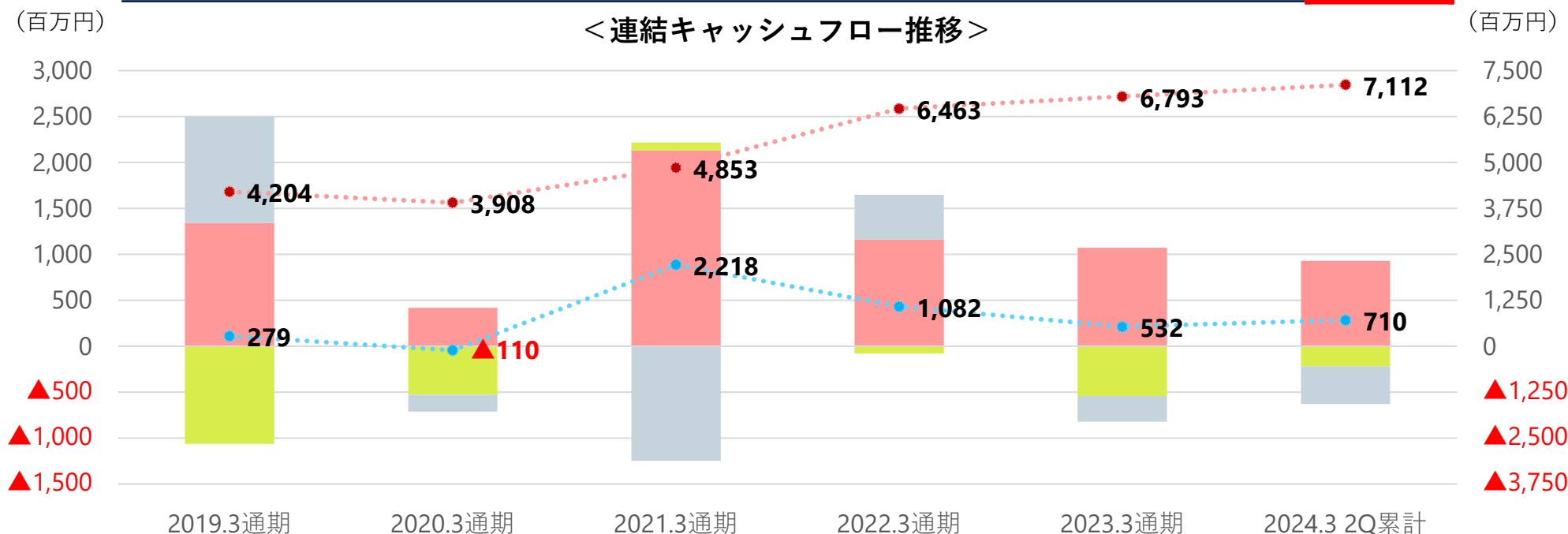
(百万円)

	2021.3 期末	2022.3 期末	2023.3 期末	2024.3		対前期末	
				2Q末	構成比	差額	増減率
資産合計	12,861	15,539	17,413	18,545	100.0%	+1,132	+6.6%
流動資産	9,696	12,389	14,187	14,959	80.7%	+772	+5.5%
有形固定資産	542	546	631	858	4.6%	+227	+36.0%
無形固定資産	378	274	242	264	1.4%	+22	+9.1%
投資その他の資産	2,243	2,329	2,352	2,462	13.3%	+110	+4.7%
負債純資産合計	12,861	15,539	17,413	18,545	100.0%	+1,132	+6.6%
負債	6,011	6,345	6,597	7,428	40.1%	+831	+12.6%
流動負債	4,388	4,621	4,703	5,506	29.7%	+803	+17.1%
固定負債	1,623	1,724	1,893	1,922	10.4%	+29	+1.6%
純資産	6,850	9,194	10,816	11,116	59.9%	+300	+2.8%
株主資本	6,592	8,929	10,451	10,705	57.7%	+254	+2.5%
資本金	1,076	1,535	1,535	1,535	8.3%	+0	+0.0%
資本剰余金	1,128	1,703	1,702	1,702	9.2%	+0	+0.0%
利益剰余金	4,605	5,865	7,389	7,643	41.2%	+254	+3.5%
自己株式	▲218	▲175	▲175	▲175	▲0.9%	+0	+0.0%
その他の包括利益累計額	220	230	316	363	2.0%	+47	+14.9%
新株予約権	5	-	-	-	-	-	-
非支配株主持分	31	34	47	46	0.2%	▲1	▲2.2%

1. 連結業績（3）連結キャッシュフロー

(百万円)

	2019.3 通期	2020.3 通期	2021.3 通期	2022.3 通期	2023.3 通期	2024.3 2Q累計
営業キャッシュ・フロー	1,342	417	2,131	1,162	1,073	929
投資キャッシュ・フロー	▲1,063	▲527	87	▲80	▲541	▲219
フリーキャッシュフロー	279	▲110	2,218	1,082	532	710
財務キャッシュ・フロー	1,157	▲185	▲1,247	486	▲280	▲409
現金及び現金同等物の期末残高	4,204	3,908	4,853	6,463	6,793	7,112



左軸：■ 営業キャッシュフロー

■ 投資キャッシュフロー

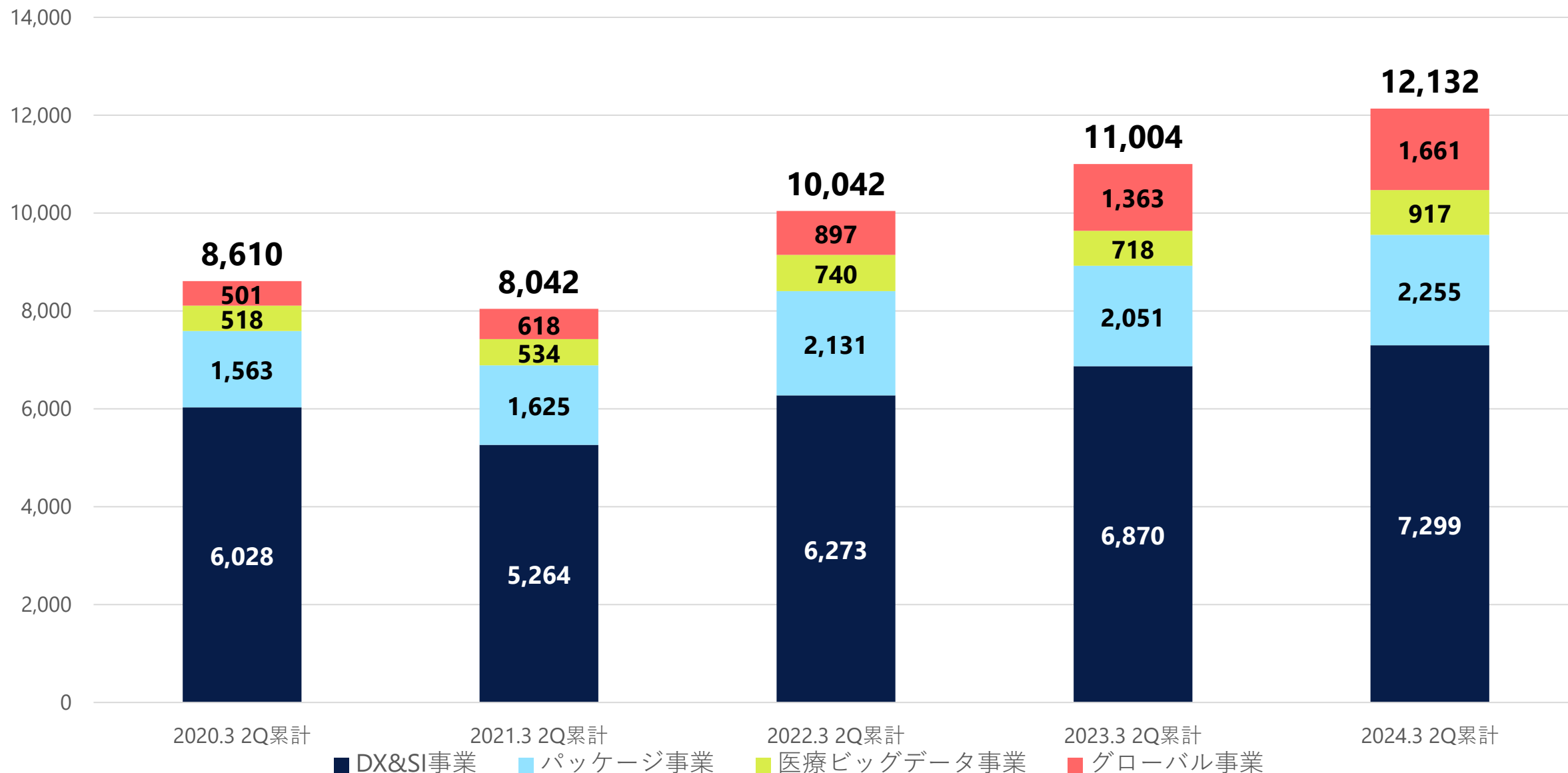
■ 財務キャッシュフロー

右軸：●●● フリーキャッシュフロー

●●● 現金及び現金同等物の期末残高

1. 連結業績（4）セグメント別売上高推移

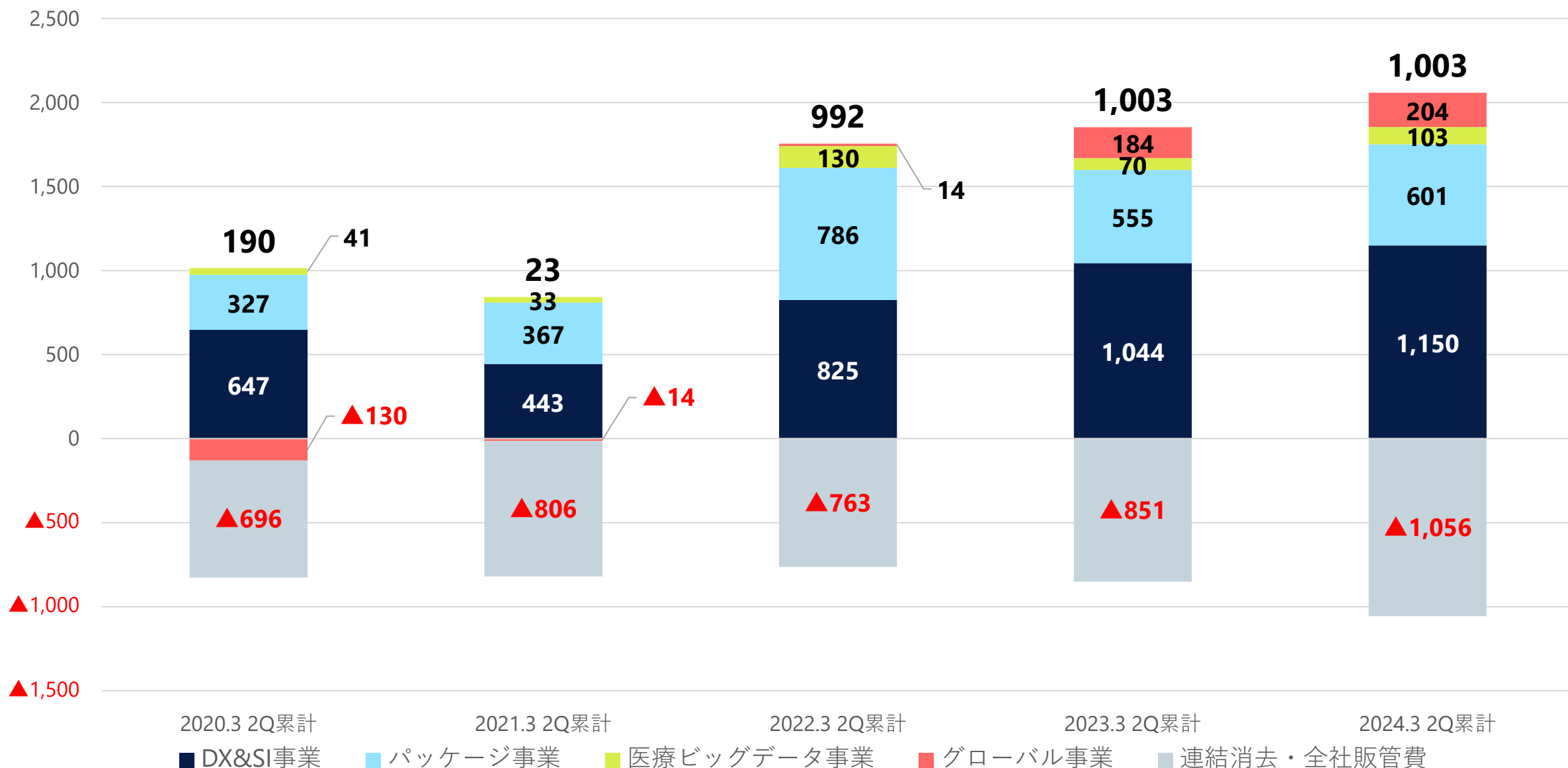
（百万円）



※グラフ上部の数値は連結売上高（連結消去後）

1. 連結業績（5）セグメント別営業利益推移

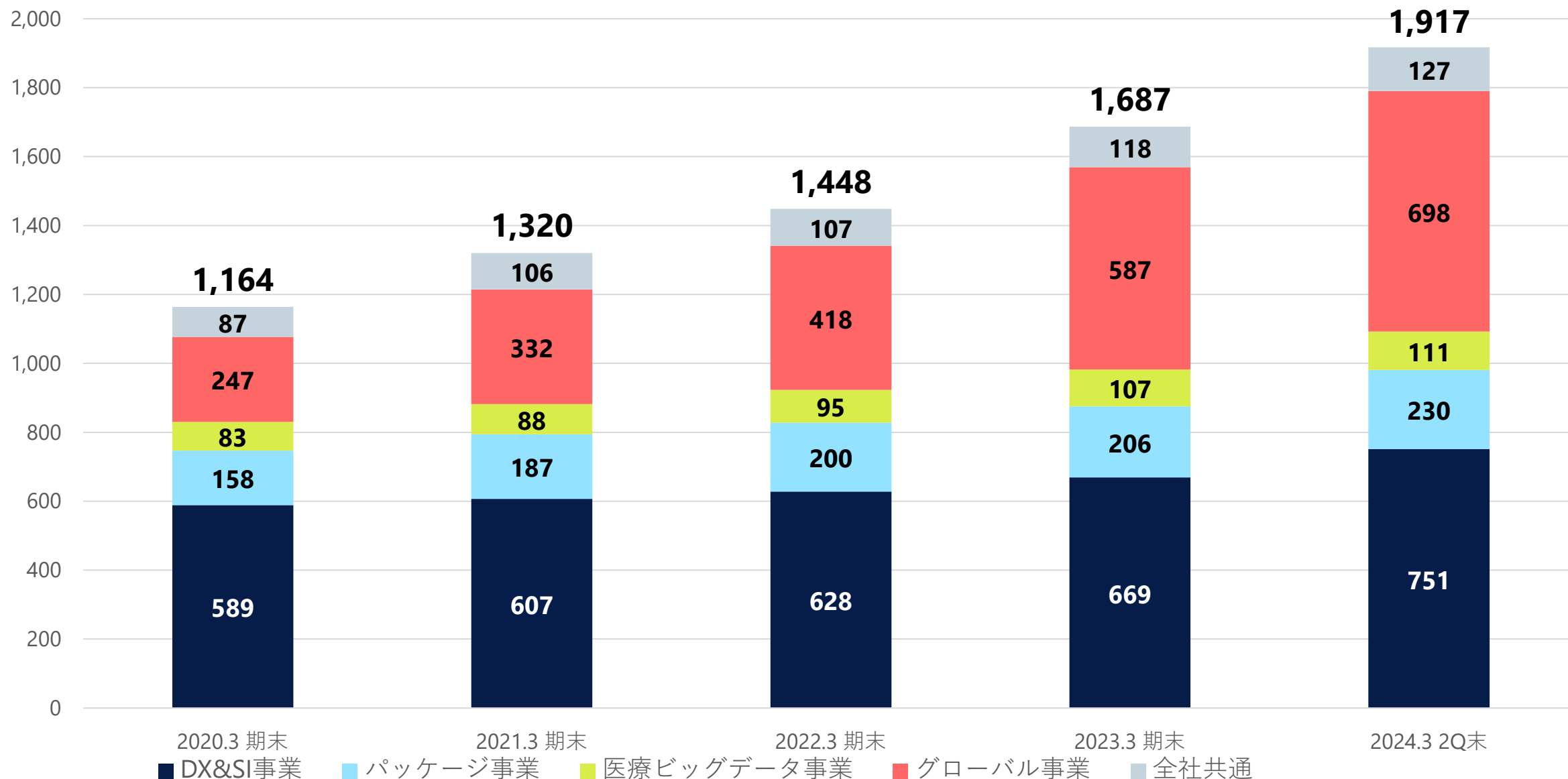
（百万円）



※グラフ上部の数値は連結営業利益（連結消去後）

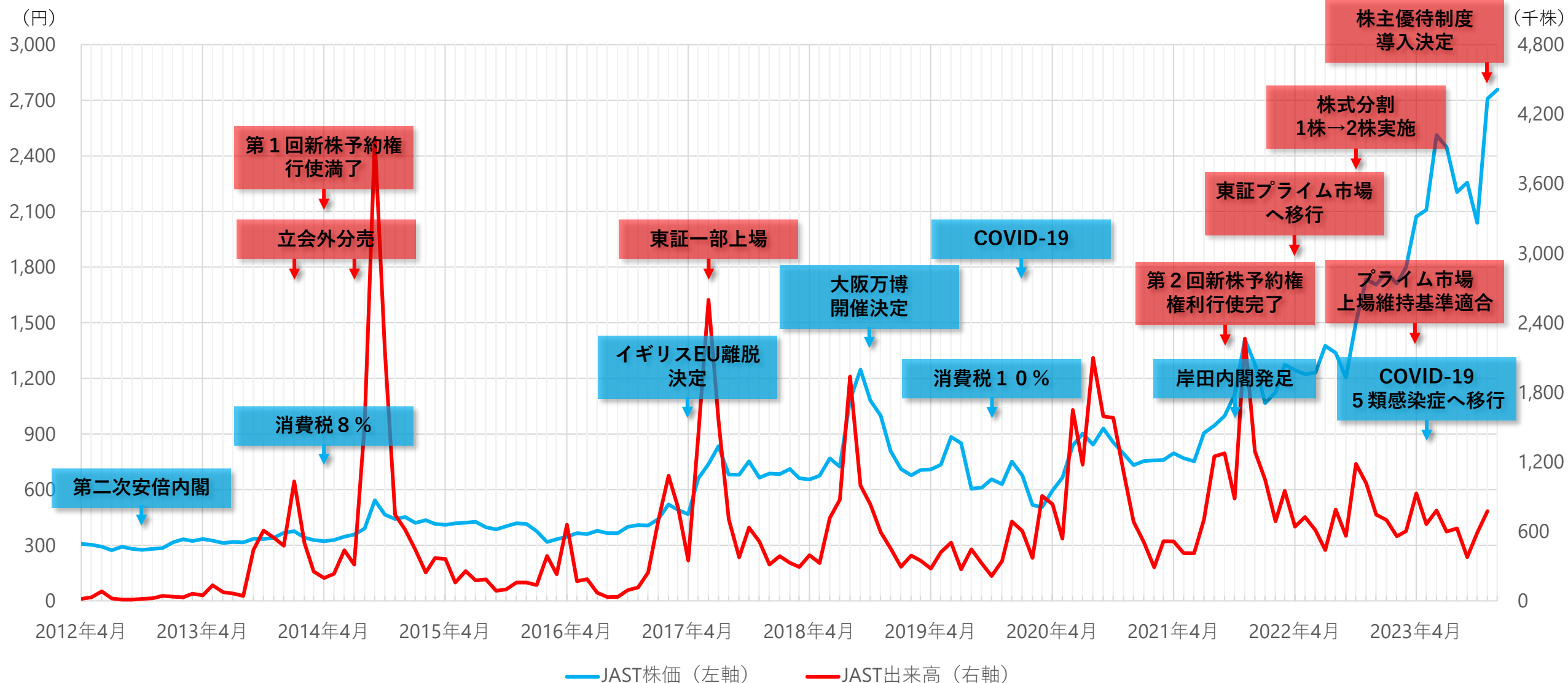
1. 連結業績（6） 連結従業員数推移

(人)



※グラフ上部の数値は連結従業員数

2. 株価（1）JASTの株価と出来高の推移



株価情報（2023年12月4日終値）

株価

2,758円

EPS（会予）

153.29円

PER（会予）

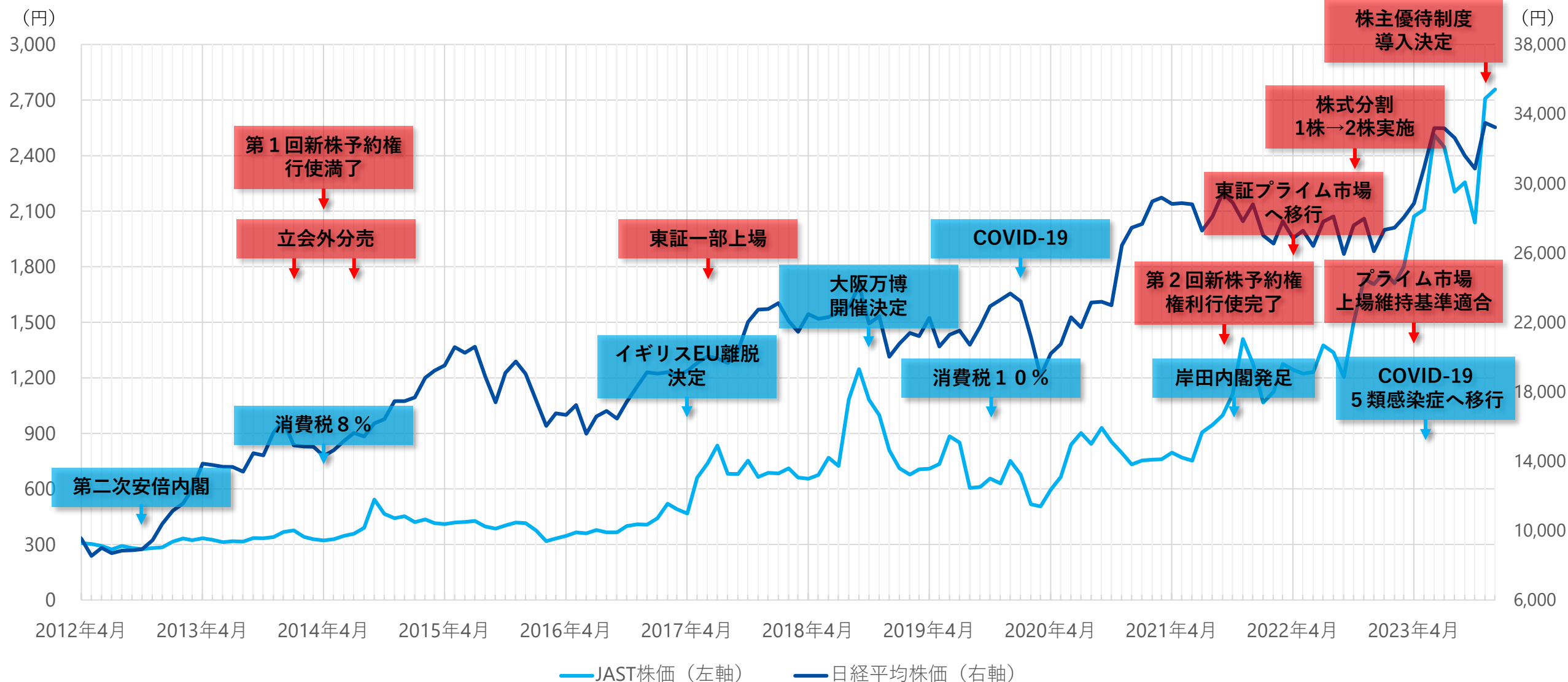
18.22倍

PBR

3.09倍

※株式分割（効力発生日：2022年10月1日）以前の株価は遡及修正して表示

2. 株価（2）JASTの株価と日経平均の相関性



株価情報（2023年12月4日終値）

株価

2,758円

EPS（会予）

153.29円

PER（会予）

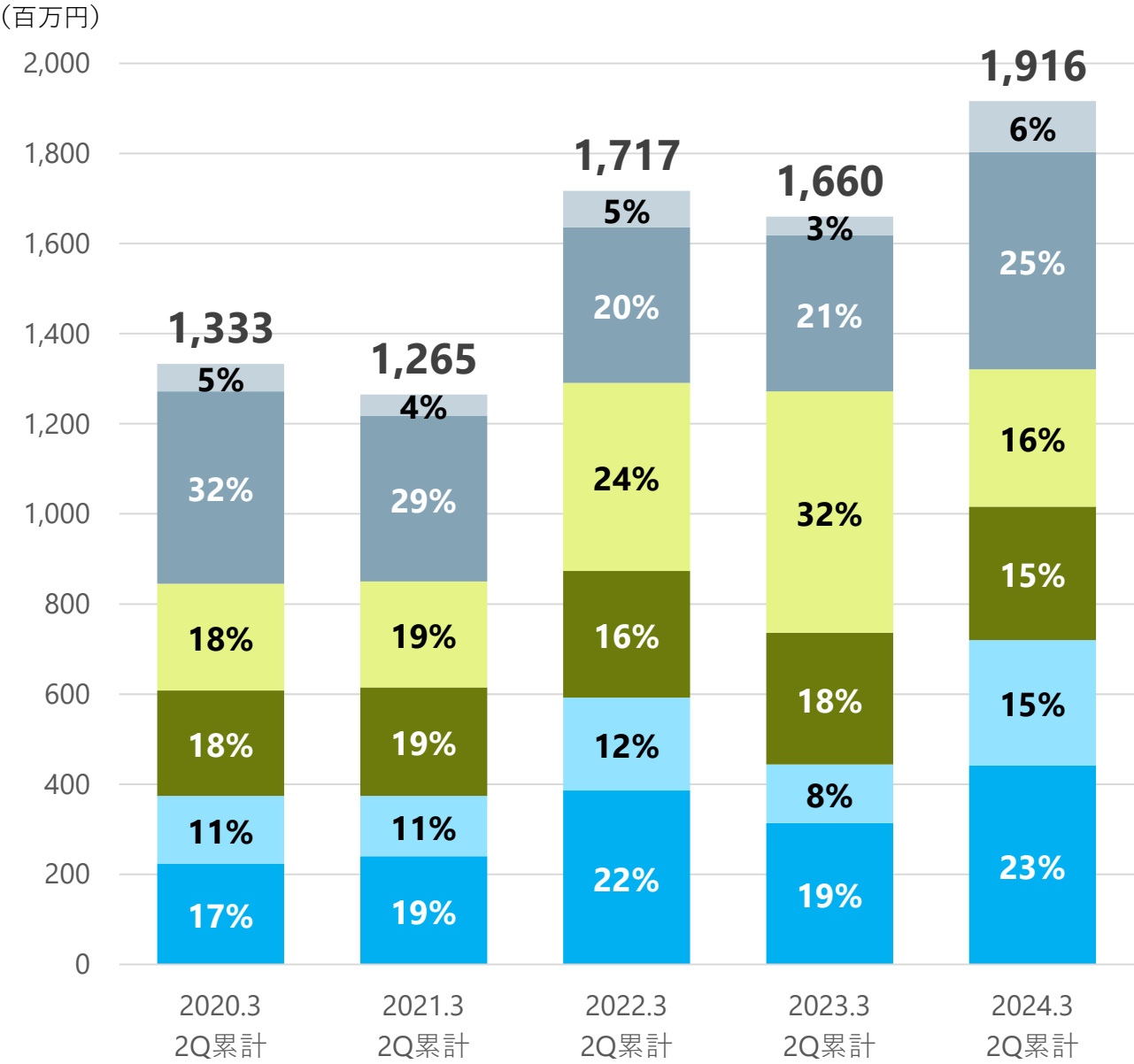
18.22倍

PBR

3.09倍

※株式分割（効力発生日：2022年10月1日）以前の株価は遡及修正して表示

3. カテゴリ別業績（1）パッケージ事業 GAKUEN 分野別売上高

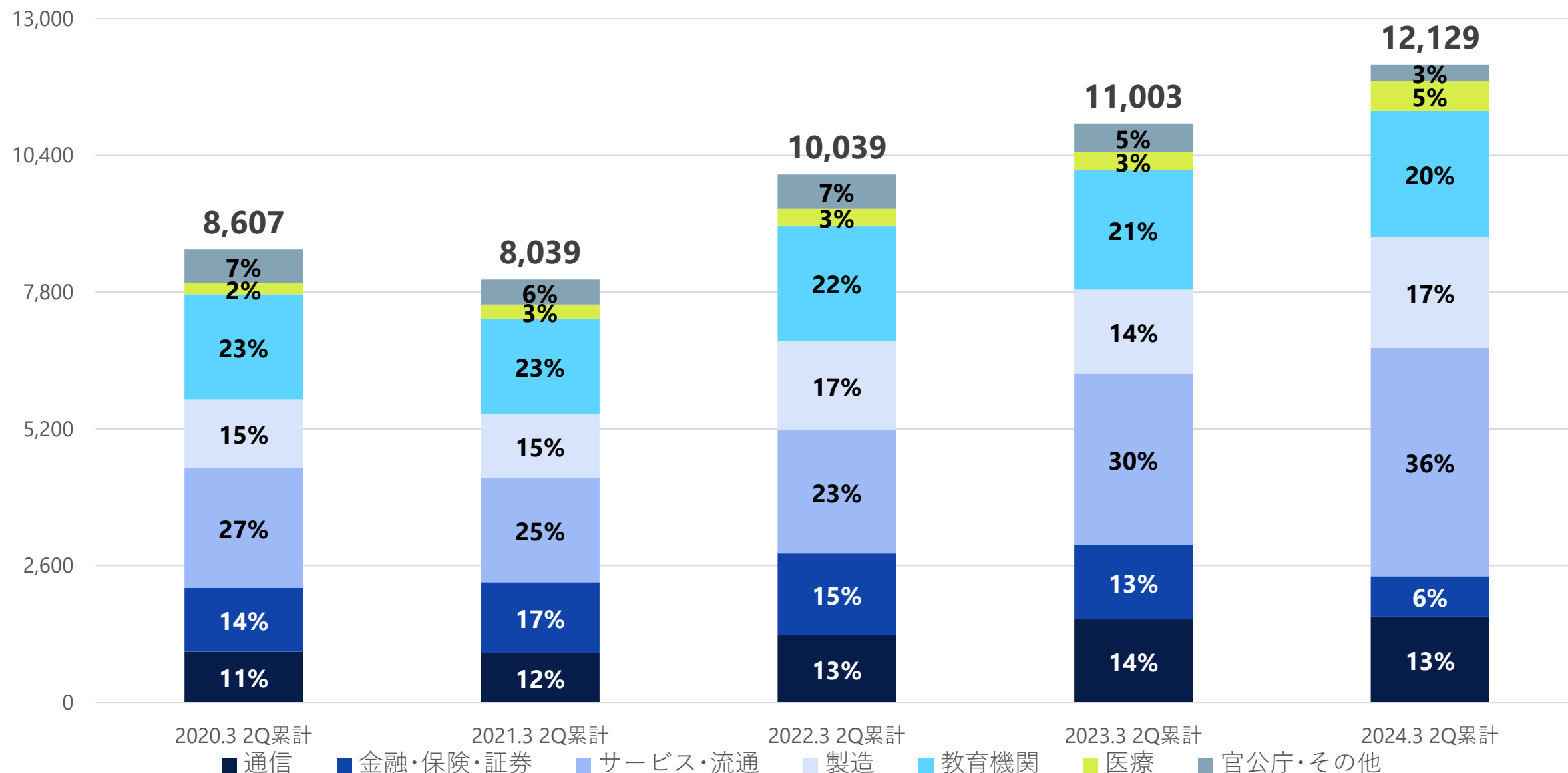


凡例	概要	特徴
運用サービス	システムの運用支援	・ストック収益
EUC開発	パッケージ販売に伴う個別受託開発	・高単価SE ・高利益
仕入販売	ハードウェア及び他社商品の仕入販売	・自社製OEMによる商材充実化
パッケージ保守	パッケージ製品の保守契約	・ストック収益
導入サービス	パッケージ製品の導入コンサルティング	・パッケージ販売と収益連動 ・非常に高単価
パッケージ販売	パッケージ製品の販売	・開発投資済み ・きわめて高い収益性

※グラフ上部の数値はGAKUEN事業の売上高合計

3. カテゴリ別業績（2）顧客業種別売上高

（百万円）

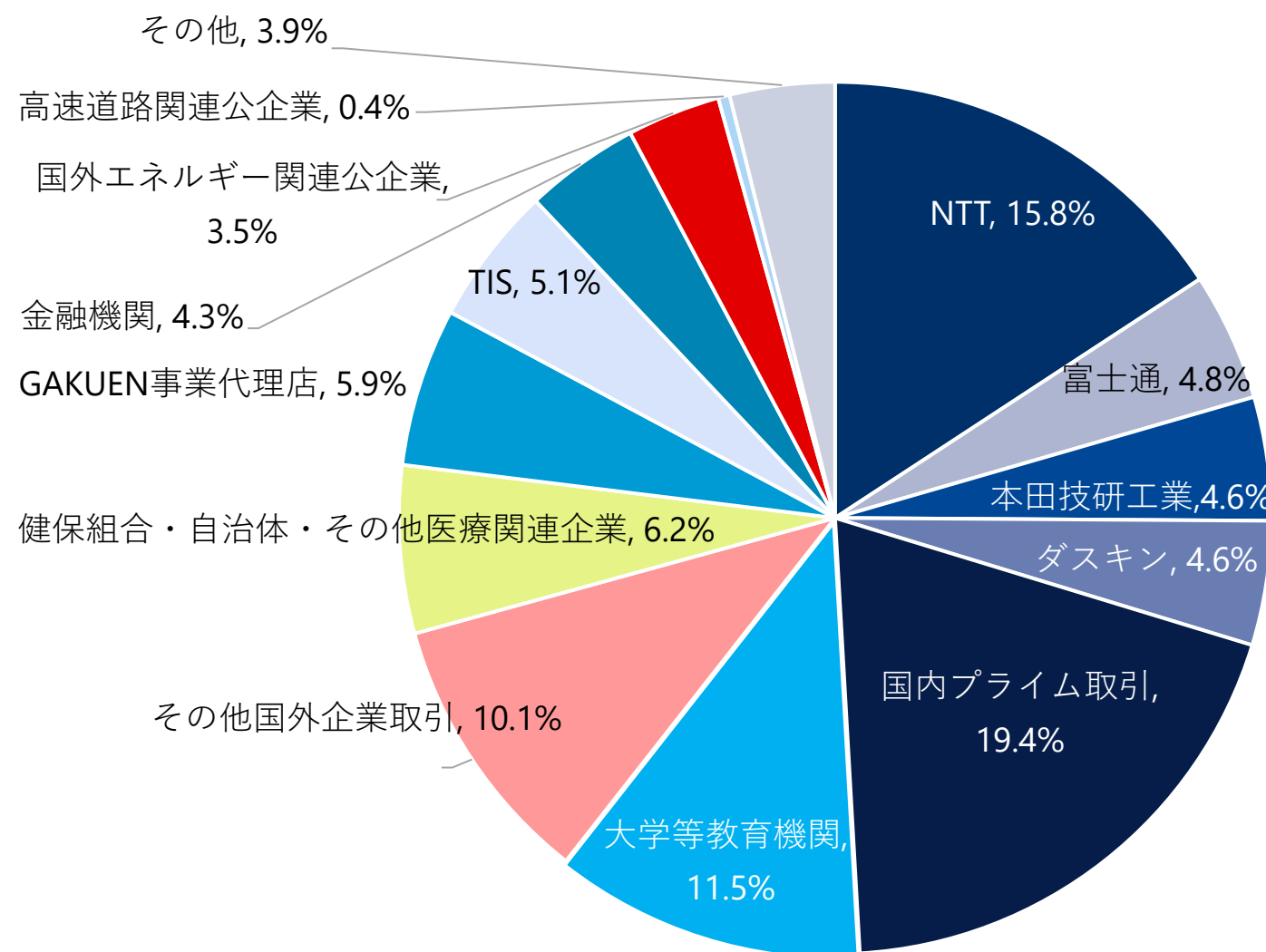


※グラフ上部の数値は連結売上高（連結消去後） ※医療ビッグデータ事業のレセプト点検等による自治体等への売上高は「医療」に分類

3. カテゴリ別業績（3）顧客グループ別売上高

超長期顧客基盤は維持継続しつつ、国内プライム取引・国外企業取引が伸長

顧客グループ (〇〇年) は取引年数を示す	2023.3 2Q累計	2024.3 2Q累計
NTT(29年)	17.6%	15.8%
富士通(47年)	4.1%	4.8%
本田技研工業(40年)	4.9%	4.6%
ダスキン(35年)	4.4%	4.6%
上記4社	31.0%	29.7%
国内プライム取引	13.8%	19.4%
大学等教育機関	10.9%	11.5%
その他国外企業取引	8.1%	10.1%
健保組合・自治体・その他医療関連企業	6.5%	6.2%
GAKUEN事業代理店	6.6%	5.9%
TIS	6.5%	5.1%
金融機関	4.2%	4.3%
国外エネルギー関連公企業	4.3%	3.5%
高速道路関連公企業	1.1%	0.4%
その他	7.1%	3.9%
合計	100%	100%



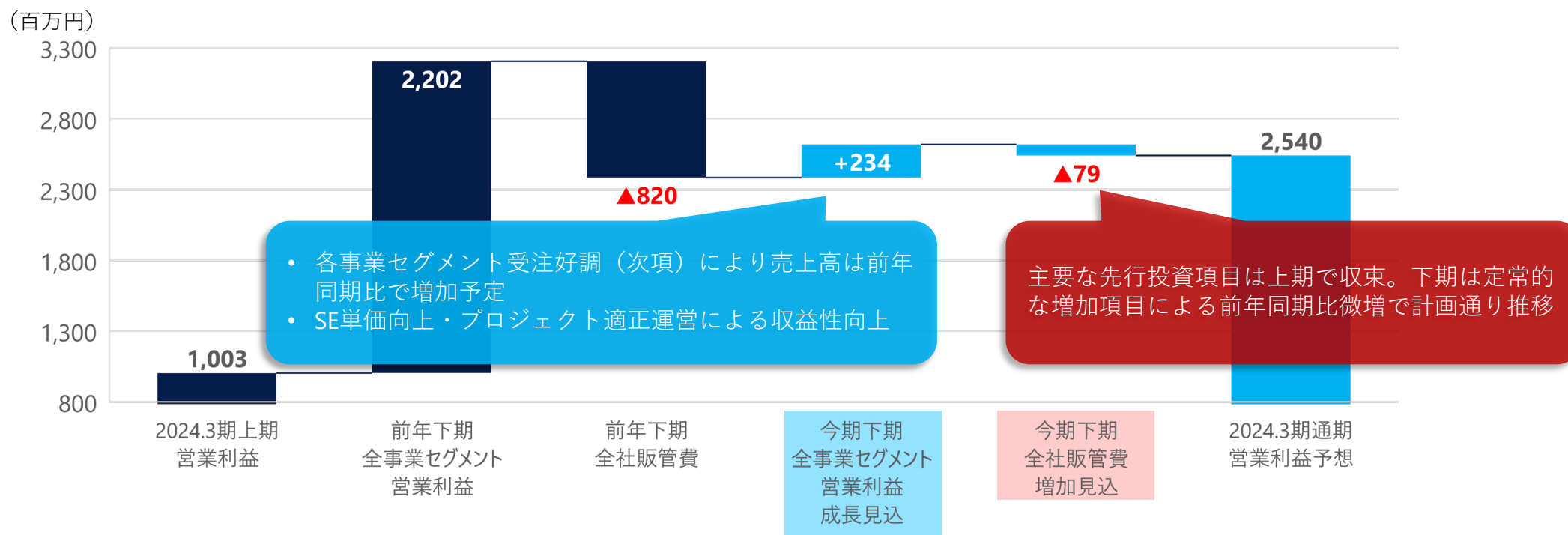
Contents

- I. 2024.3期 2Qサマリー
- II. 業績概況
- III. 当期業績予想と直近の取り組み**
- IV. 長期成長戦略
- V. Appendix

1. 業績予想（1）通期予想に対するフィジビリティ分析

下期見込において、事業セグメント営業利益は前年同期比でプラス、販管費は微増の計画
通期当初予想の利益は達成を見込む

対象期間	対象項目	2023.3期	2024.3期	差額
下期・下期見込	全事業セグメント：営業利益	2,202	2,435	+234
下期・下期見込	全社：販管費	▲820	▲899	▲79
下期・下期見込	小計（連結営業利益）	1,382	1,536	+155
上期実績	連結営業利益	1,003	1,003	▲0
通期	合計（連結営業利益）	2,385	2,540	+155



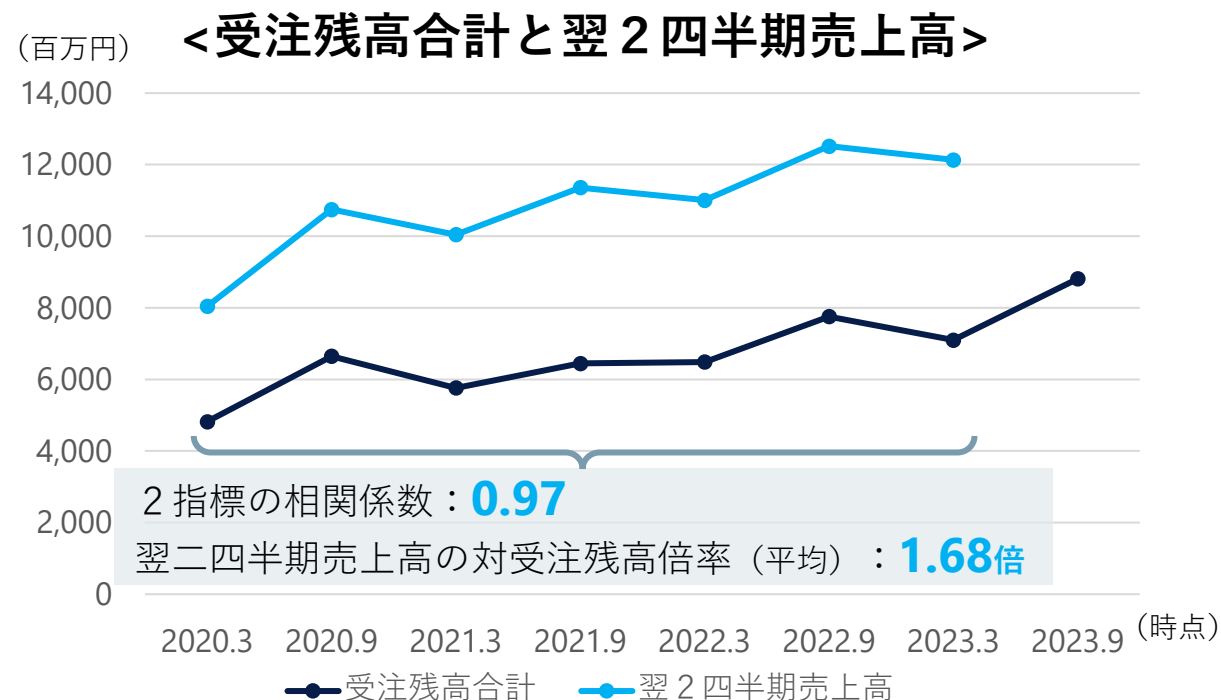
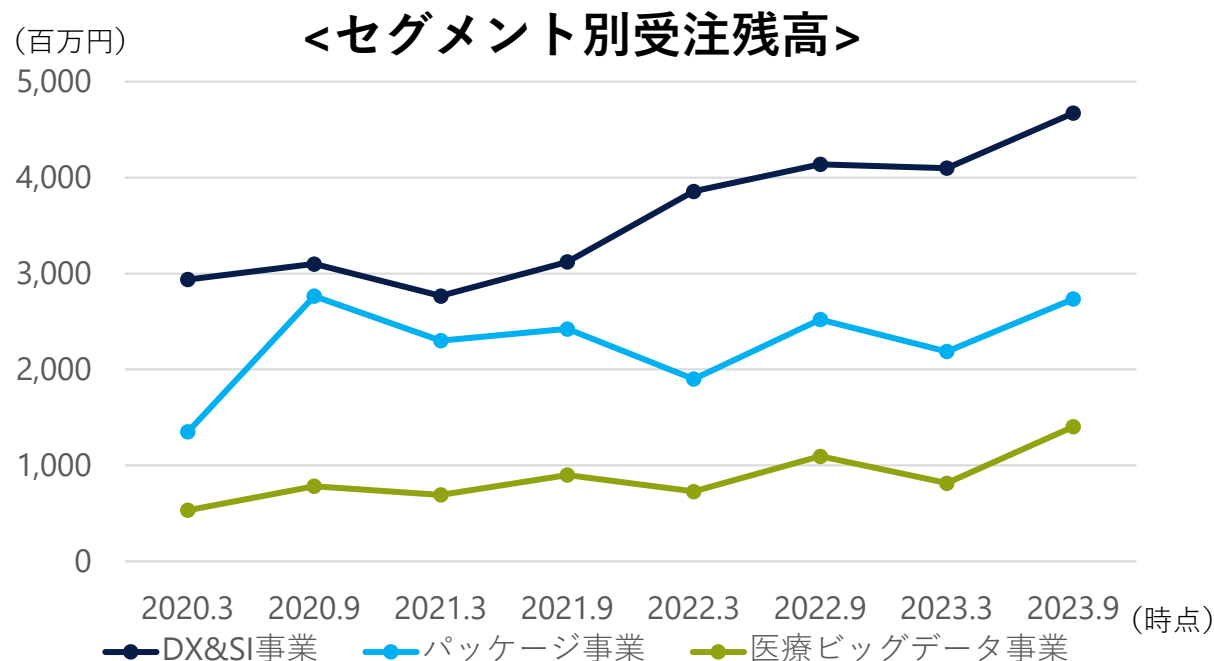
1. 業績予想（2）受注残高と売上高の推移

受注残高と翌2四半期の売上高は相関係数0.97（強い正の相関関係）

2024.3期下期の売上高は当初予測を上回る着地を見込む

（百万円）

事業/時点	2020.3	2020.9	2021.3	2021.9	2022.3	2022.9	2023.3	2023.9	対2023.3 増減率
DX&SI事業	2,937	3,099	2,766	3,121	3,857	4,138	4,098	4,672	+14.0%
パッケージ事業	1,349	2,764	2,301	2,423	1,902	2,521	2,187	2,735	+25.1%
医療ビッグデータ事業	532	782	692	900	727	1,095	814	1,403	+72.4%
受注残高 合計	4,818	6,645	5,760	6,446	6,486	7,754	7,099	8,811	+24.1%
翌2四半期売上高	8,042	10,747	10,042	11,357	11,004	12,515	12,132		



1. 業績予想（3）研究開発費

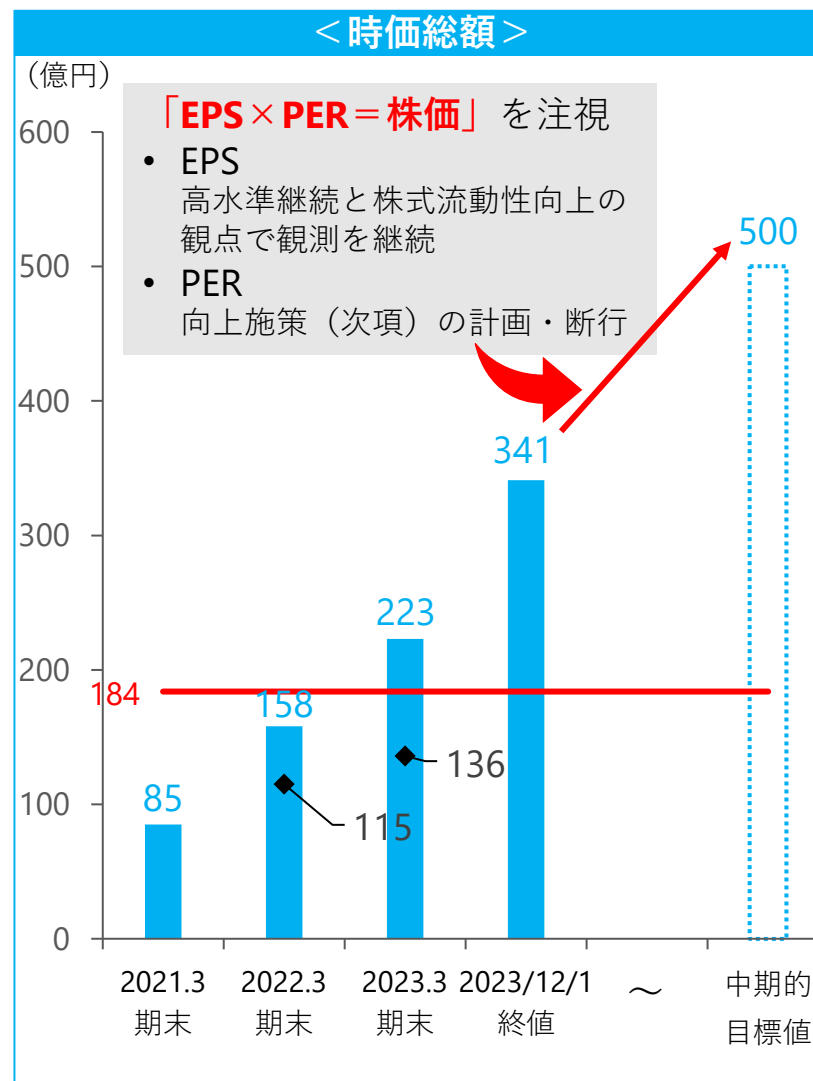
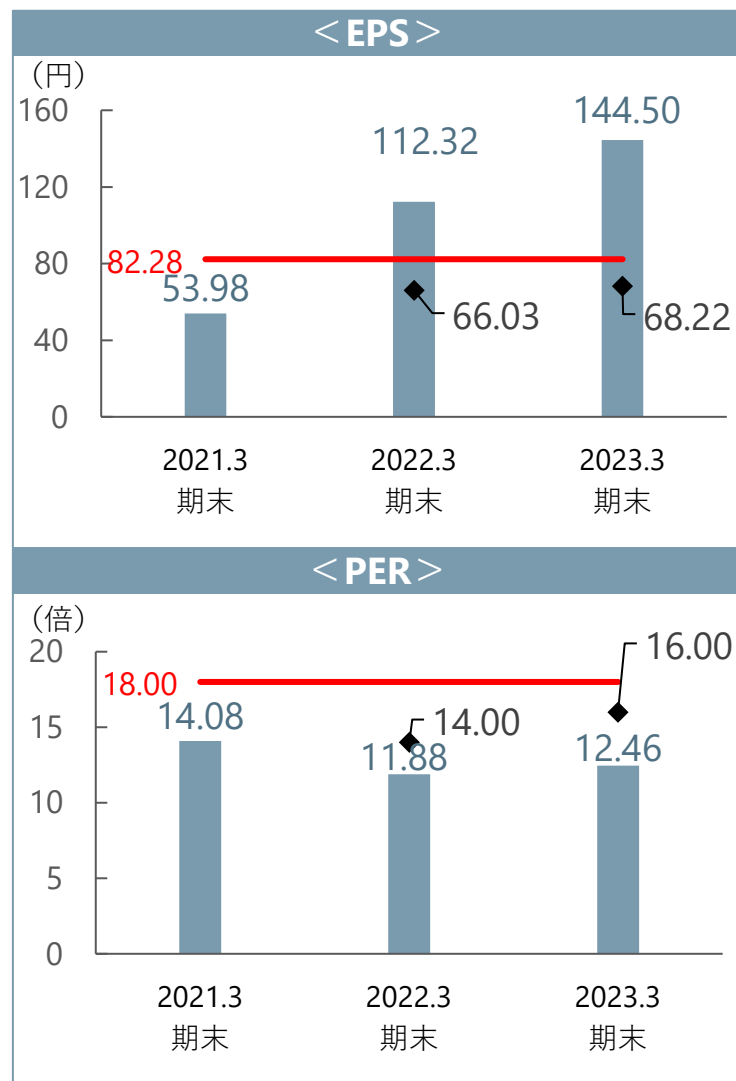
商材開発に加え技術開発・共同研究へ積極投資
多岐のテーマに対し、当初計画通り研究開発が進行中

<当初計画における研究開発テーマ>

	2022.3 通期	2023.3 通期	2024.3 通期予想	
DX & SI事業	98	108	➡	DX & SI事業 - メガソリューション強化 - SIビジネスのJASTブランド化
パッケージ事業	145	179	➡	GAKUEN - RX製品強化 - 周辺ソリューション拡充 - 卒業生への機能拡充 - Z世代学生向け新製品開発
医療ビッグデータ事業	81	73	➡	医療ビッグデータ事業 - 医療機関向け製品開発 - iBss機能拡充 - RPA製品開発
その他	110	107	➡	BankNeo - 営業支援システム強化 - SMART BankNeo製品強化 - 新サービス開発（AI自然言語、顧客との共創） - 大規模銀行向け新製品開発
研究開発費合計	436	469	➡	その他 - 新商材開発 - 新技術研究 - 産学官共同研究 - 共創型DXによる商材開発

※2024年3月期通期予想の矢印の角度は増減率のイメージ

2. バリュエーション（１）時価総額の継続的向上



流通株式時価総額は計画値※に対し1年前倒しで達成し、**プライム基準に適合**

「**Micro-cap⇒Small-capへの市場ポジション転換**」を目指し
ターゲットを株式時価総額400～500億円に設定。

■ 実績
◆ 当初計画※
— プライム市場上場維持基準達成の目標値※

2. バリュエーション（2）PER向上へ向けた取り組み

企業価値基盤：業績拡大によるEPS及びROEの伸長

+ 各種施策による投資家とのリレーション強化

個人・機関投資家への情報発信強化

- ・ 国内・海外の機関投資家とのミーティング機会増
- ・ IRメディア（TV・雑誌）への露出
- ・ 個人投資家対象の説明会を開催

⇒接触・露出機会増加による認知度向上

DXプロバイダとしてのブランディング強化

- ・ DXイメージの打ち出し
- ・ WEBサイトの更改
- ・ 報告セグメント変更によるDX事業への注力
- ・ プレスリリースの強化

⇒個人・機関投資家の好感度向上

IRグローバル化

- ・ 各種英文開示の充実化・日英タイムラグの短縮
⇒・決算短信・有価証券報告書・プレスリリース
・決算説明会資料・WEBサイト

⇒日本株への影響力が増大している
海外機関投資家へのアプローチを強化

株式取引の流動性向上及び売買活性化

- ・ 株式分割の実施
- ・ 利益成長に応じた配当施策
- ・ 株主優待制度の導入

⇒JAST株式の魅力向上による市場売買の活性化

今後の重点取り組み



- ・ 配当政策を含む株主還元施策の継続強化
- ・ 更なる広報強化による一般認知の拡大
- ・ サステナビリティ関連の発信強化

2. バリュエーション（3）優待施策

株主の皆様への感謝の体现及び、当社株式への投資魅力向上に向けSR施策に注力
株式流動性・総合利回り向上によるファン株主獲得を目的に株主優待を決定

<株主優待施策>

創立50周年記念優待 オリジナルクオカード

- ・ 期待効果：株主様の裾野の拡大
- ・ 対象株主^{注1}：100株（1単位）以上保有

創立50周年記念優待
【100株以上】

JAST株主優待 オリジナルカタログギフト

- ・ 期待効果：株主拡大及び長期保有株主拡大
- ・ 対象株主^{注1}：300株以上保有
- ・ 品目：エシカル商品、社会貢献活動への寄付等

JAST株主優待
【300株以上】

<狙い>

株主特性	株主数 ^{注2}	持株比率 ^{注2}
個人株主	1,500名	10%
機関投資家・ 金融機関等	100名	40%
その他 ^{注3}	500名	50%

◆現状の弱み

株主還元より株価急上昇が先行し利回り指標で見劣り
⇒個人株主の利確売りによる退出が生じている

◆施策方針：

- ・ 総合利回りの上昇による個人株主の増加
- ・ 個人株主の長期保有化による株主構成の安定性維持

◆株主優待による効果：

- ・ 個人株主の新規流入増加＝流動性の向上
⇒出来高の増加
- ・ ファン株主の増加＝利確売りの減少
⇒長期保有化

◆機関投資家も含めた全体の効果：
株価・PERの向上

注1）対象株主の補足事項

- ・ 創立50周年記念優待：2024年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様を対象といたします。
- ・ JAST株主優待：毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様を対象といたします。
また、保有株式数・継続保有期間に応じてカタログギフトの内容・金額が異なります。
- ・ 詳細は2023年11月22日開示「株主優待制度の導入及び創立50周年記念優待実施に関するお知らせ」をご覧ください。

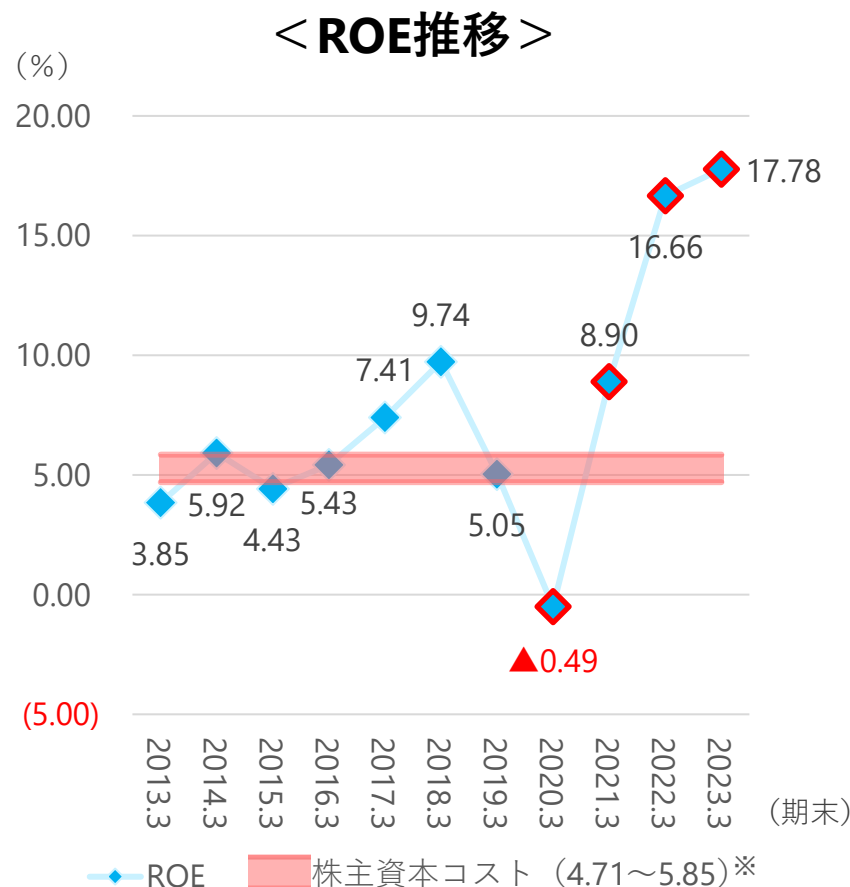
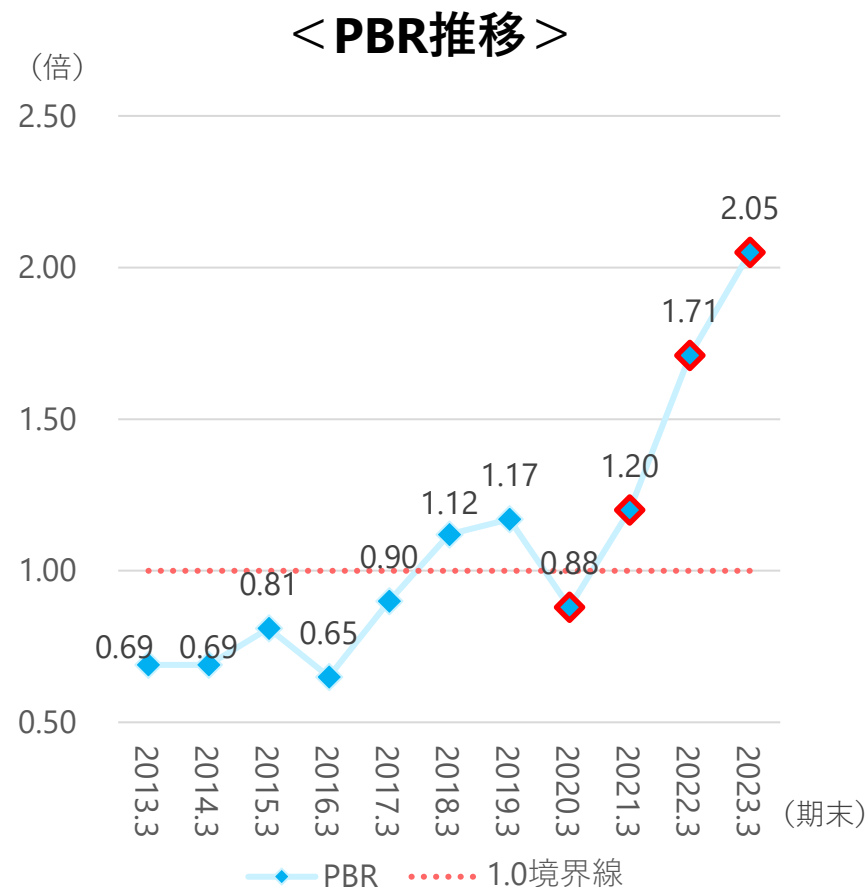
注2）株主数、持株比率：数値は概数

注3）株主特性「その他」：JAST関係個人株主、国内法人等

3. 資本コストへの着目（1）企業価値向上に関する認識

直近PBRは2.0倍超を推移し成長基調

エクイティスプレッド※を意識した経営により更なる上昇を継続していく



エクイティスプレッド
の正負とPBRは連動

株主資本コストを
上回るROE
を創出し続け、
高PBR企業として拡大

※エクイティスプレッド：ROE－株主資本コストで算出、当値が正であれば株主価値を創出しているといえる

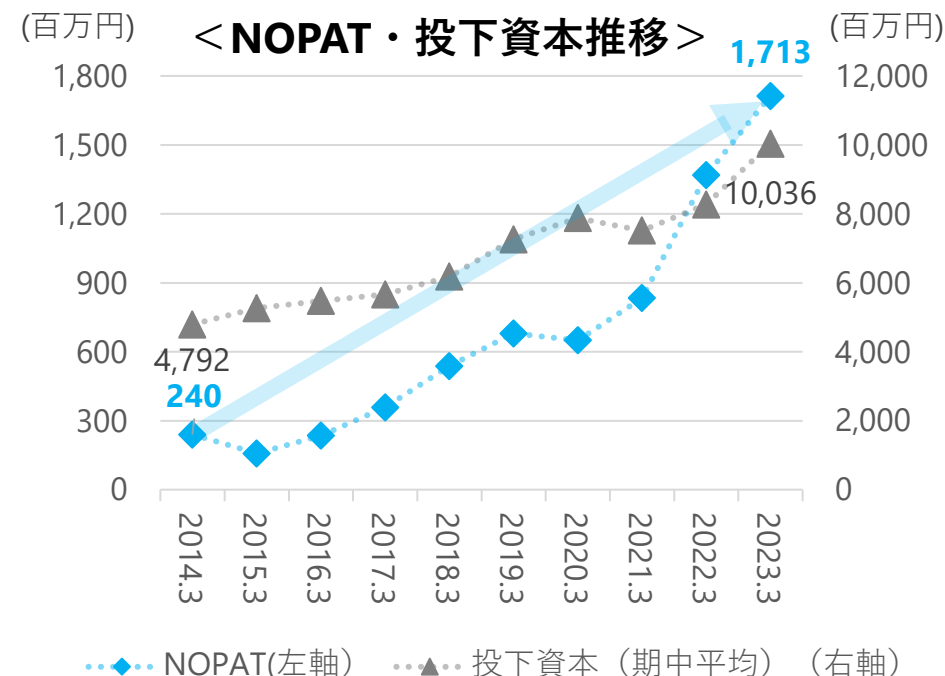
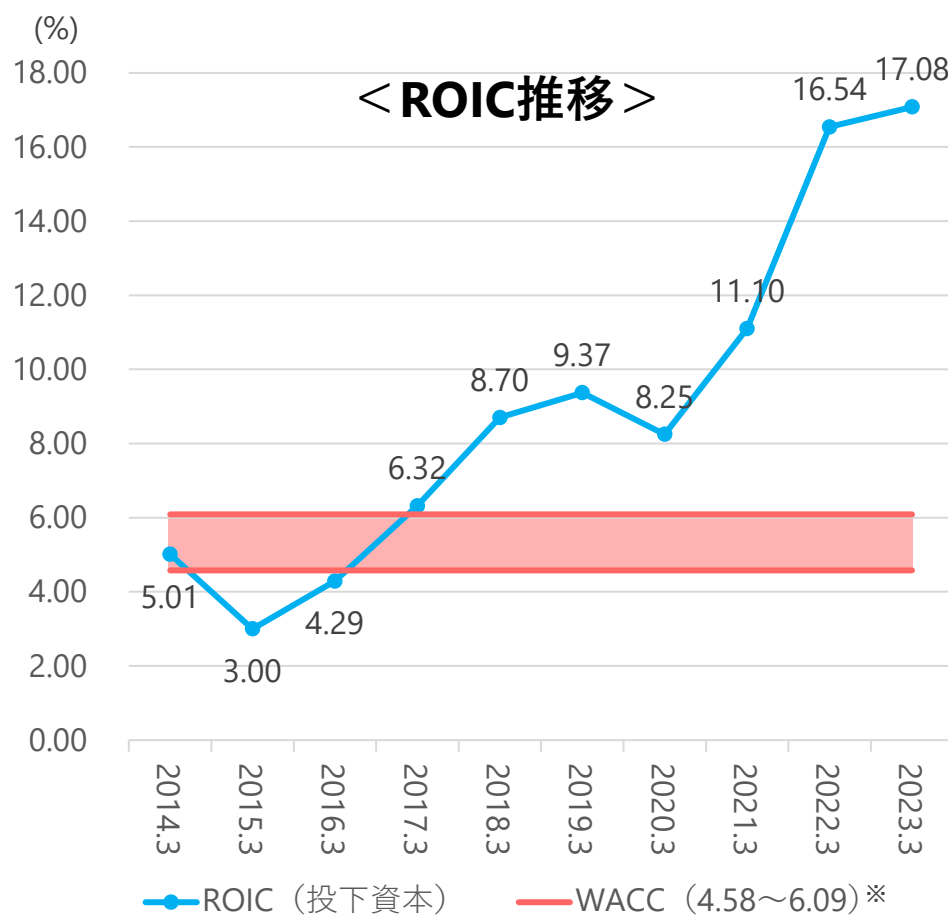
※株主資本コスト：リスクフリーレート＋β（感応度）×エクイティリスクプレミアム

・リスクフリーレート：2023/3/31の国債10年金利(0.322%) ・エクイティリスクプレミアム：SPEEDAよりヒストリカル・リスクプレミアムの過去50年期間数値(5.45%)を使用

・β値：株価(配当込)とTOPIX(配当込)の過去データを用い右式にて修正(修正β＝2/3×β＋1×1/3)、15年間・10年間・5年間の3パターンから上限・下限を試算

3. 資本コストへの着目（2）ROICの継続的向上

利益成長速度が投下資本の拡大速度を上回り、ROICは10期で約12ポイント向上
EVAスプレッド※はプラス推移



2014.3期末-2023.3期末CAGR	
NOPAT	投下資本 (期中平均)
24.4%	8.6%

※EVAスプレッド：ROIC（投下資本）－WACCで算出、当値が正であれば株主及び債権者の要求コスト（WACC）を上回る経済価値を創出しているといえる

※WACC：有利子負債÷（時価総額（自己株式控除後）＋有利子負債）×（1－実効税率）×負債コスト※＋時価総額（自己株式控除後）÷（時価総額（自己株式控除後）＋有利子負債）×株主資本コストにて算出

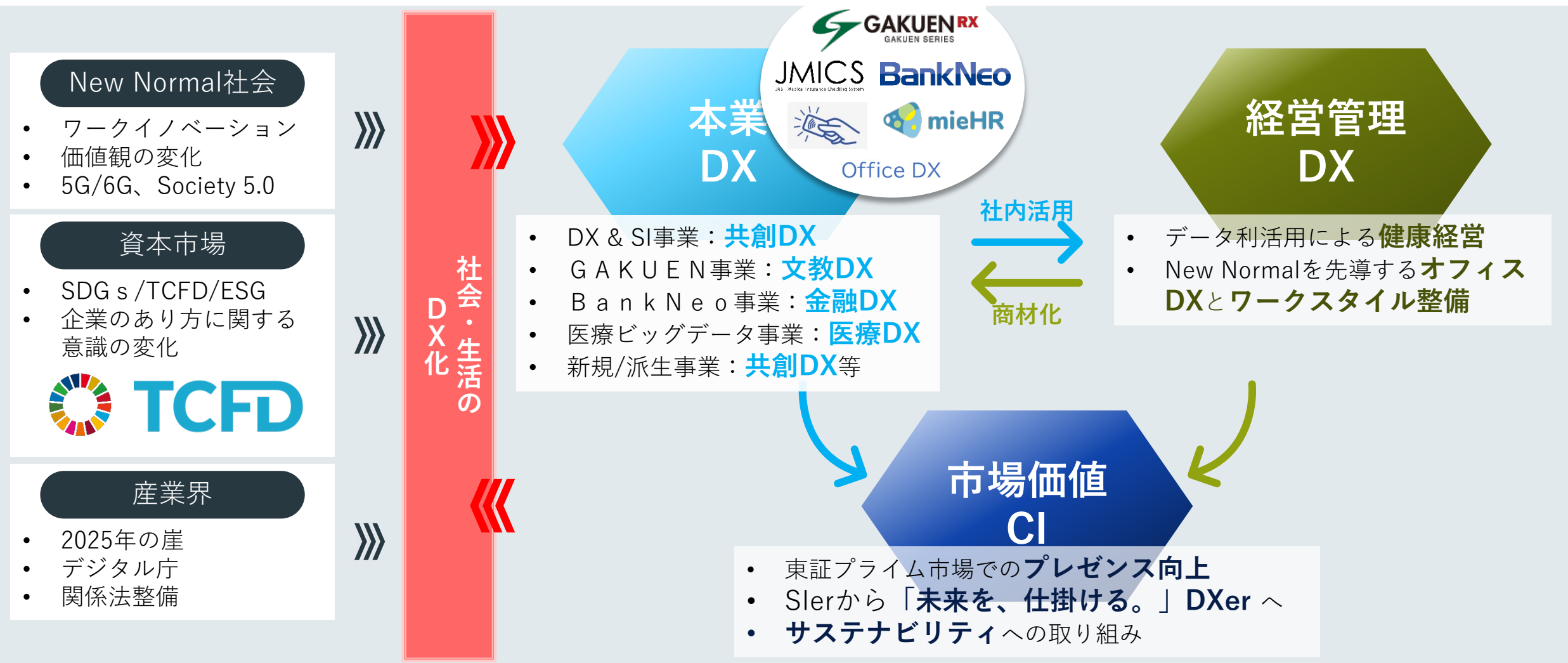
※負債コストは自己資本及び自己資本比率が同水準の複数の上場企業の中央値を使用

Contents

- I. 2024.3期 2Qサマリー
- II. 業績概況
- III. 当期業績予想と直近の取り組み
- IV. 長期成長戦略**
- V. Appendix

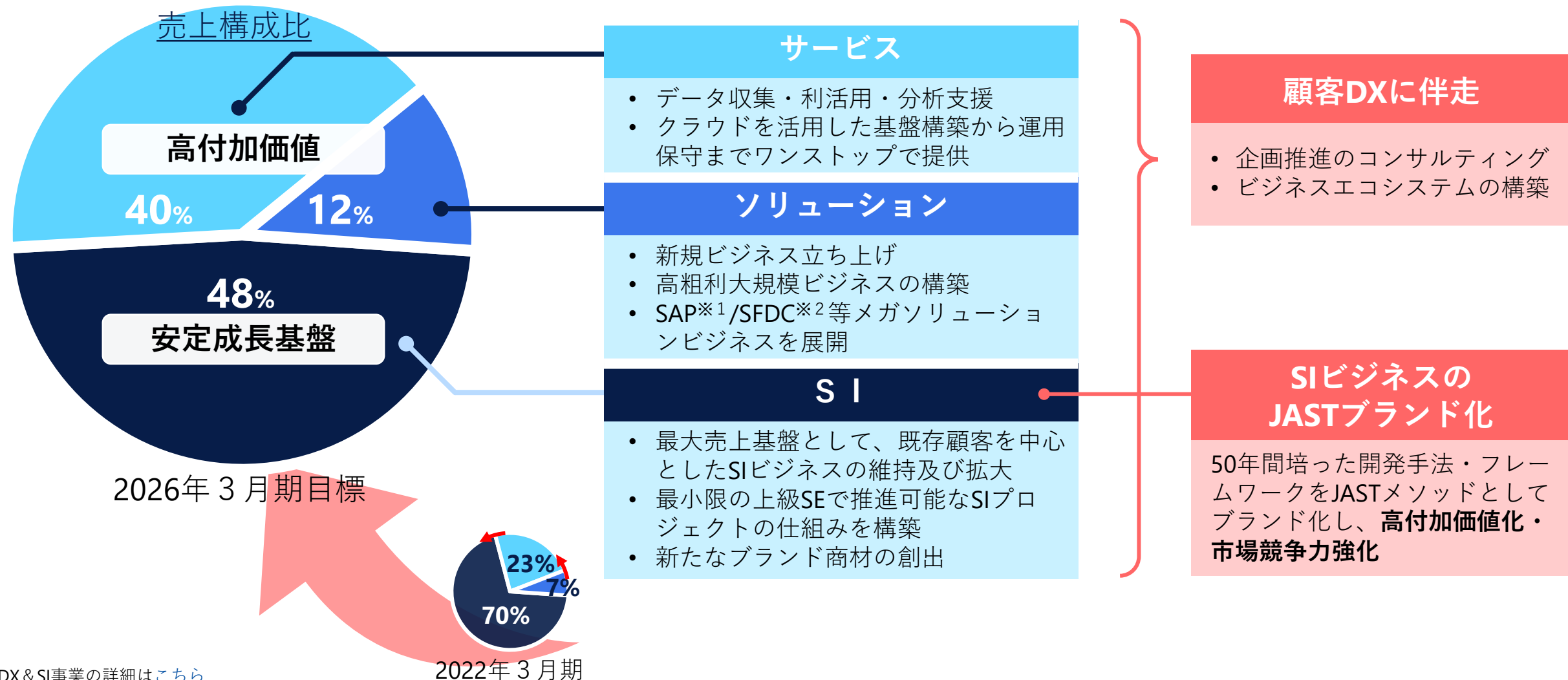
1. JAST流DX構想

本業・経営管理のDX推進活動を余さず活用し、
事業発展・生産性向上・市場価値向上の循環構造を作る



2. 本業DX（1）DX&SI事業 戦略概要

事業ポートフォリオを再定義し、
安定成長基盤の維持拡大と高付加価値ビジネスの推進を両立



弊社DX&SI事業の詳細は[こちら](#)

※他社ソリューションの商標については当資料末尾「**商標**」に記載しております

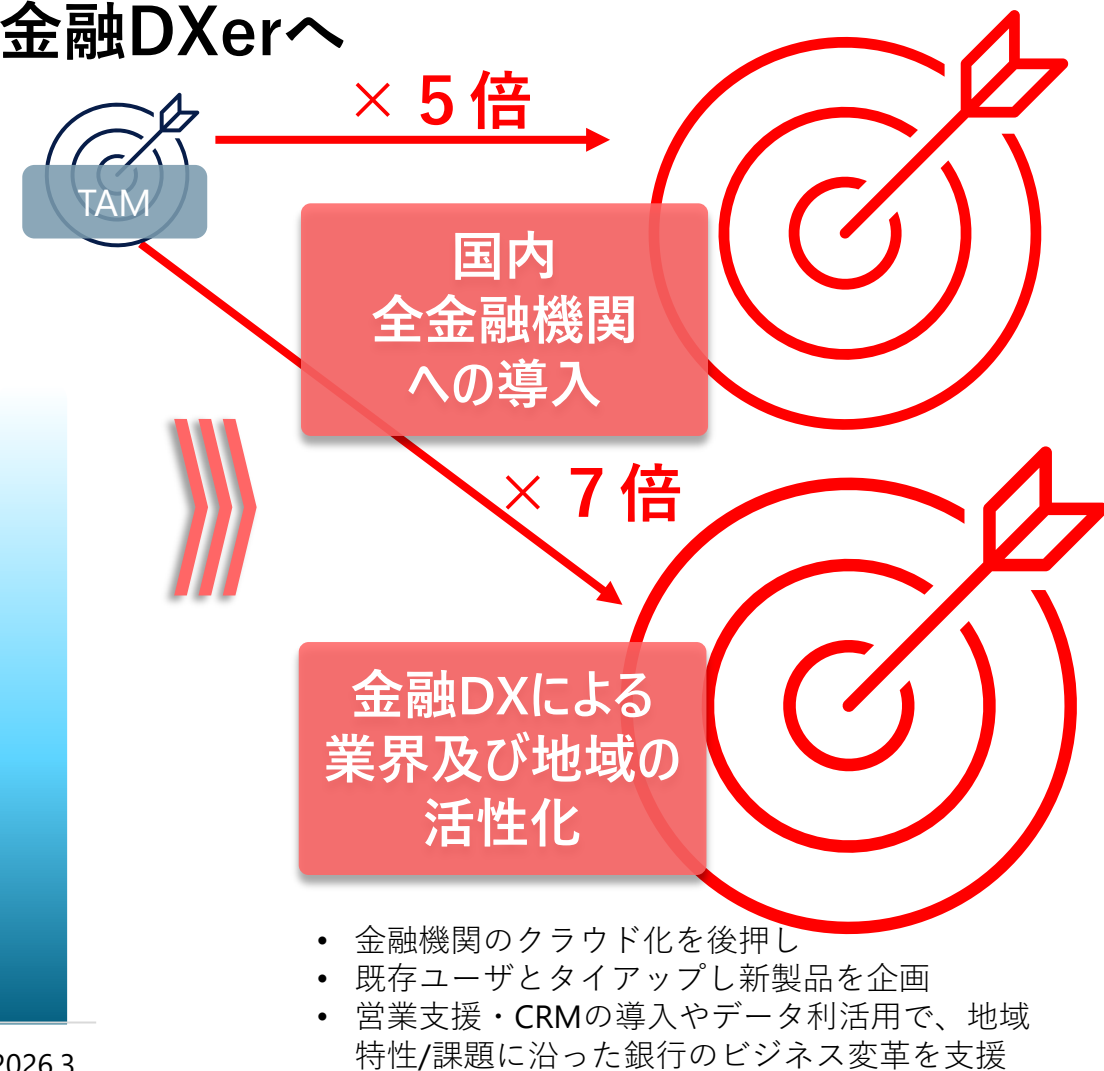
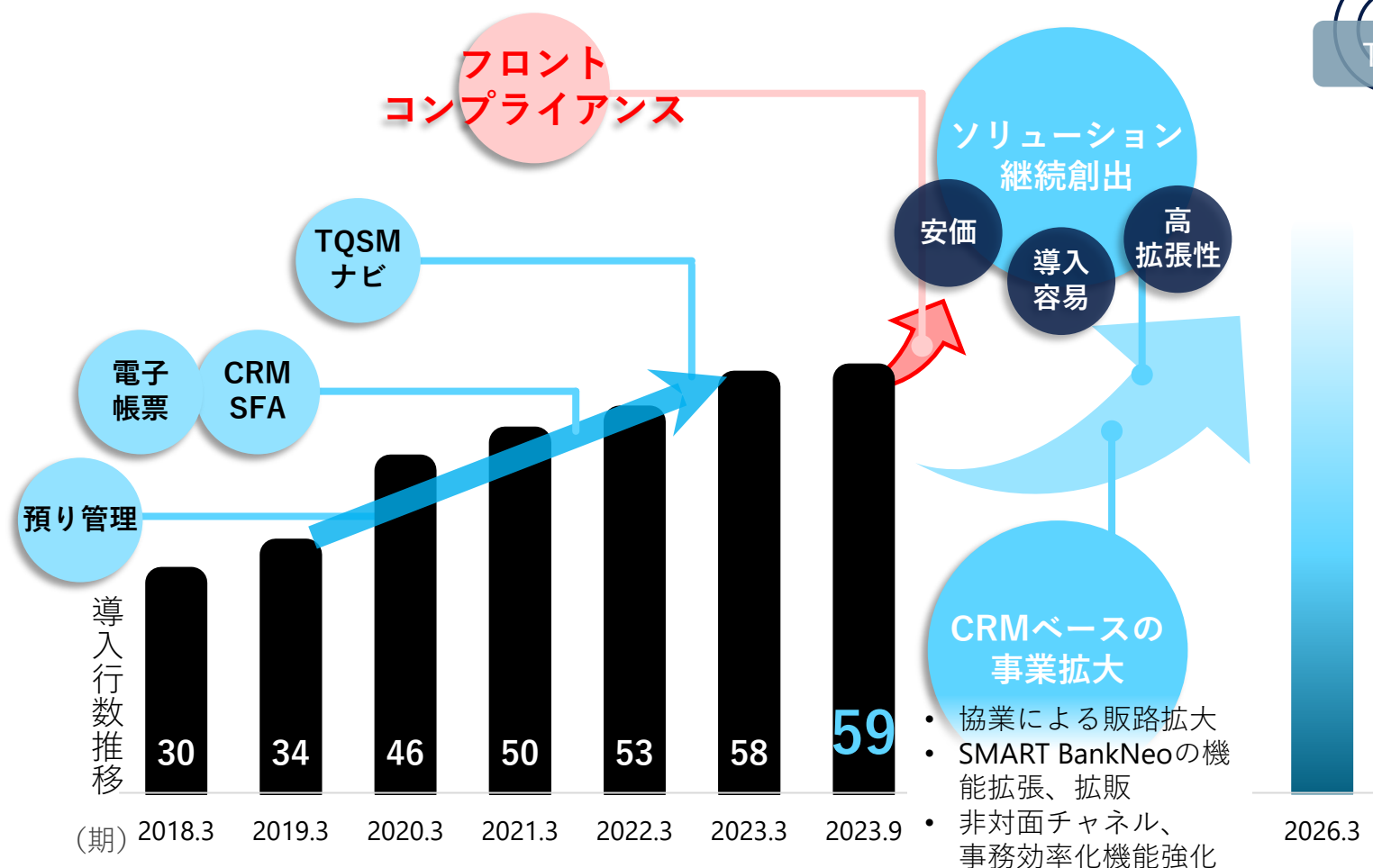
2. 本業DX（2）パッケージ事業：GAKUEN 戦略概要

トップブランドとしての基盤を土台に、新規サービスで対象市場を拡大する



2. 本業DX（3）パッケージ事業：BankNeo 戦略概要

スマート/ニッチ/クラウドをコンセプトに新規ソリューション継続リリース
独自商材で対象市場を拡大し、地域に貢献する金融DXerへ



2. 本業DX（4）医療ビッグデータ事業 戦略概要

圧倒的レセプト処理数と高付加価値のビッグデータビジネスを武器に
保険者DXのトッププレイヤーへ



- 全保険者対応型点検モデルの完成
- データ分析、保健事業コンサルティング強化

- 商材ラインナップ拡充
- 認知・ユーザ数拡大
- プラットフォーム化



国内トップ
データプロバイダ

国内トップ
保険者プラットフォーム

保険者DX
のトッププレイヤーへ

データ利活用の
ビジネスモデル構築

新サービス・市場
拡大

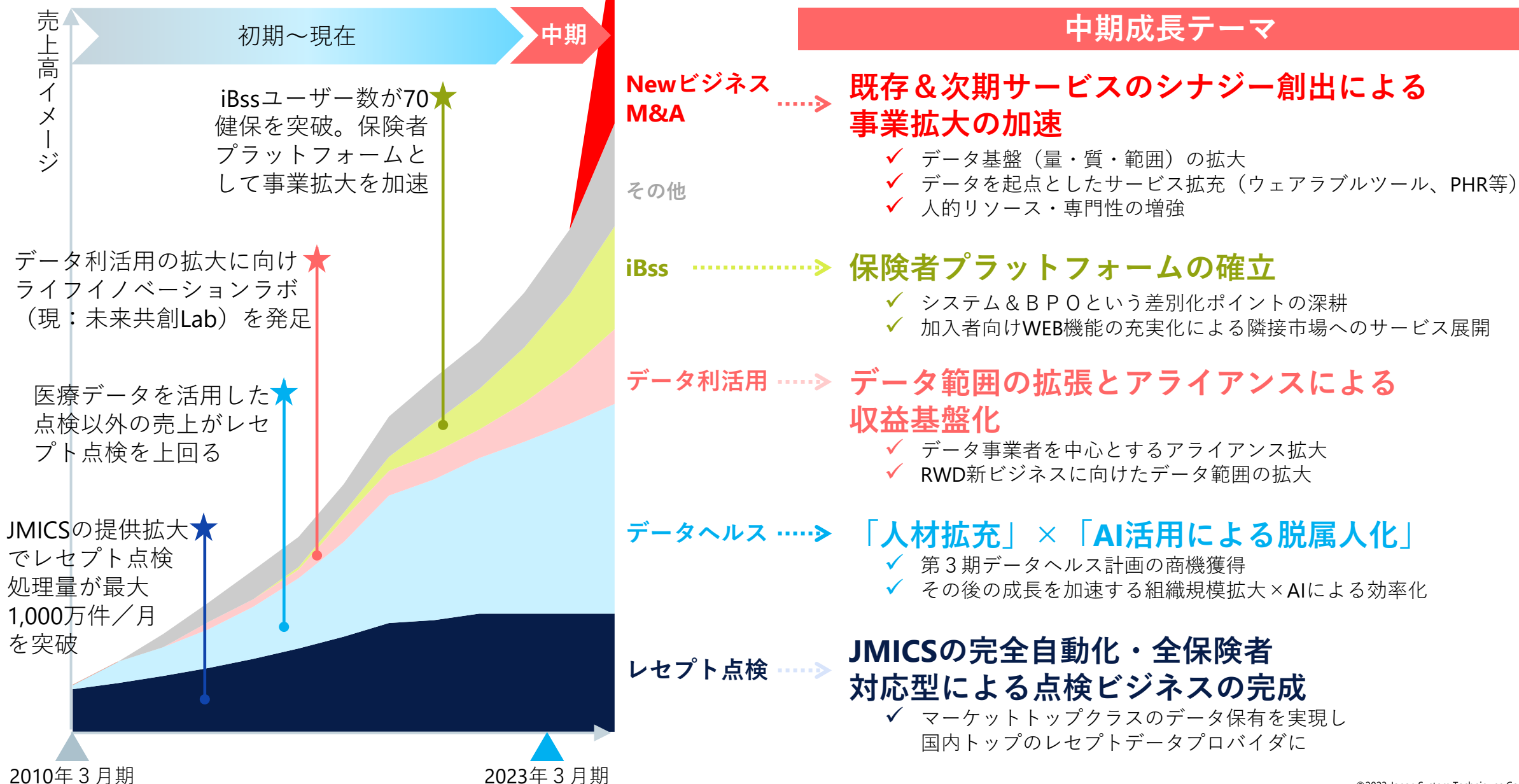
M&A/アライアンス



総合医療DXサービスへ進化

- 健康経営
- 製薬業界/医療機関
- D2Cビジネス etc.

2. 本業DX（5）医療ビッグデータ事業 中期の事業拡大



2. 本業DX（6）未来共創Lab（JAST Lab）

JASTの保有するデータを活用し、アカデミア等との共同研究を通じた社会貢献と他社との商材開発による事業化シーズ発掘を目指す

◆ 提供サービス

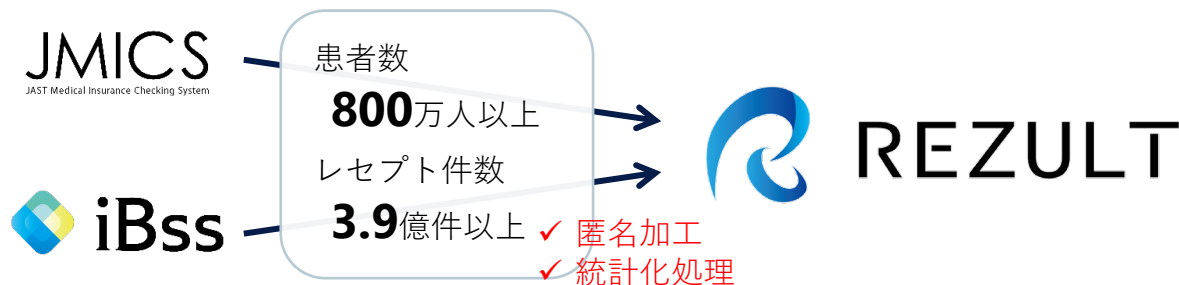
1) Medical Data PROVISION : MDP

メディカルビッグデータを用いたDX活動及び研究推進用パッケージ



2) REZULT

JAST保有のメディカルビッグデータを直感的に利用可能としたデータセット



◆ 共同研究・アウトプット [直近3件]

神戸大学 原泰史准教授と共同研究を開始 [2023.11.16]

「15th IHEA World Congress」慶應義塾大学 中嶋研究室との共同研究経過発表 [2023.8.3]

「第5回日本メディカルAI学会学術集会」糸魚川総合病院 勝木先生 との共同研究の分析成果発表 [2023.7.7]

◆ メディア掲載 [直近3件]

糖尿病診療・療養指導のための医療情報ポータル「糖尿病リソースガイド」 [2023.9.4]

テレビ朝日「ANNニュース」 [2023.7.28]

「共同通信」「東京経済新聞」 [2023.6.22]

◆ データ提供先・対外活動 [2023.12.8現在]

一般社団法人
オルタナティブデータ推進協議会

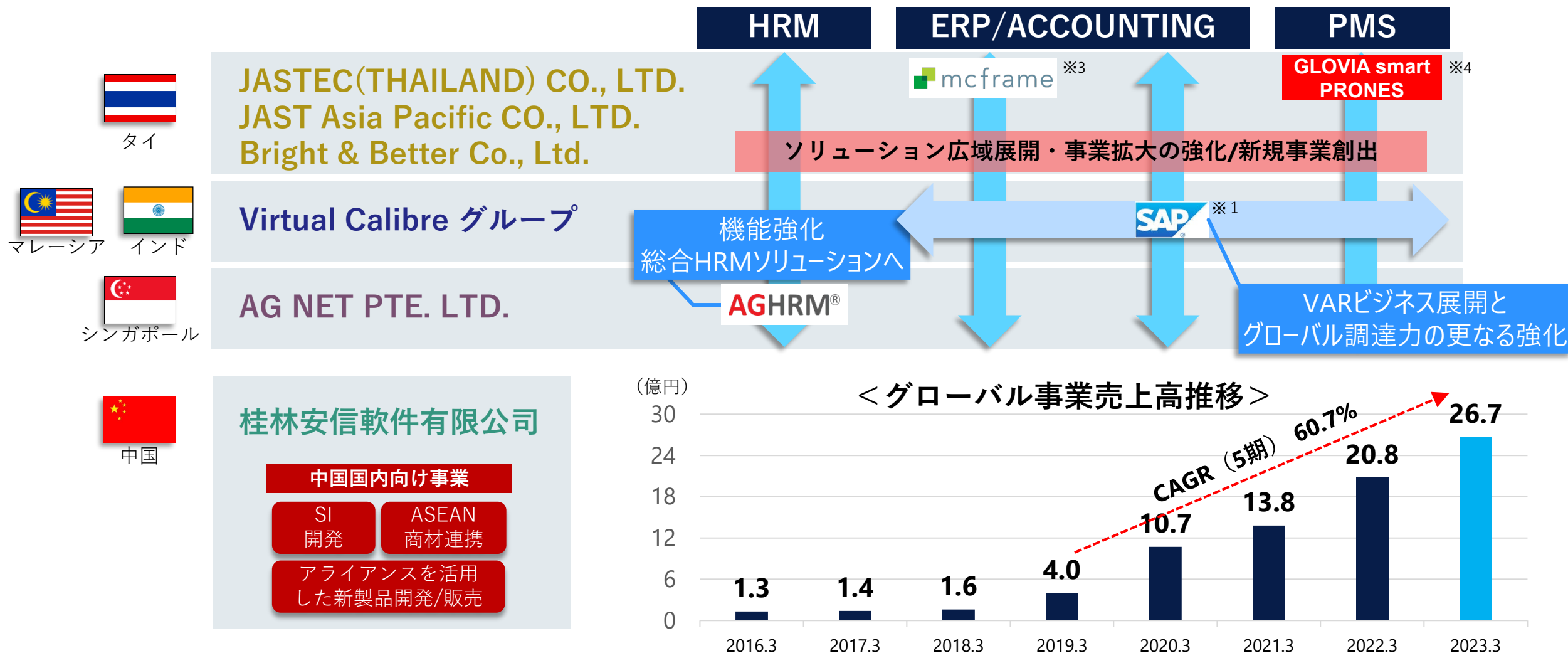
内閣官房 COVID-19
AI・シミュレーションプロジェクト

国立情報学研究所
情報学研究データリポジトリ(IDR)

AWS Data Exchange/
AWS Marketplace

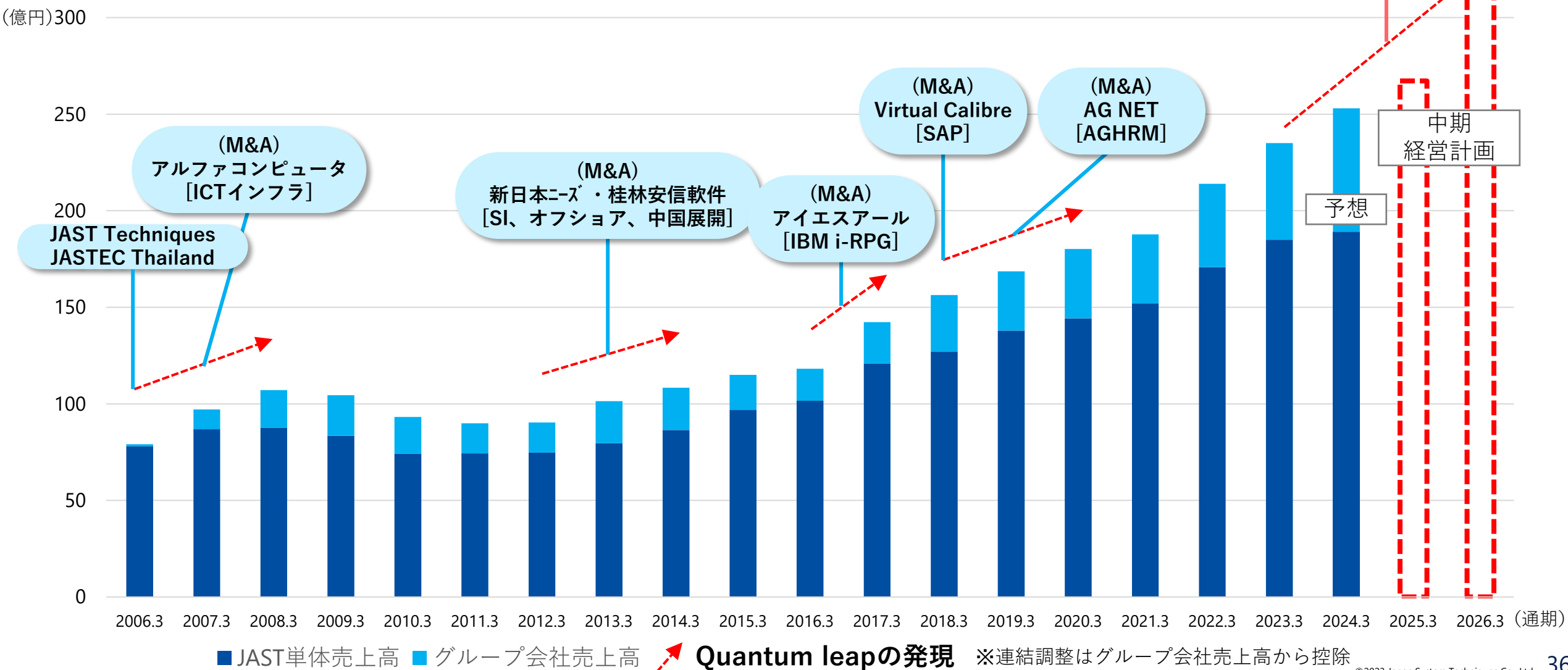
2. 本業DX（7）グローバル事業

デジタル先進国化に向け DX 市場が急成長にあるインドに拠点を設立
ASEAN＋南アジア・中東圏へSAPビジネスを拡大しグローバル成長を加速させる



2. 本業DX（8）M&A/グループ拡大戦略

同業種/他業種×JAST ITでの国内新マーケット創出と、
商材・エリア拡大/シナジー創出を意識した国内外M&Aを継続



2. 本業DX（9）新領域への適応とアライアンス戦略

ターゲットとなる新領域は多方面にわたる。積極的な研究開発とアライアンス戦略で次なる成長ドライバを加速的に生み出していく

	ビッグデータ データサイエンス	NewNomal DX	ブロックチェーン フィンテック	AI、生体認証、VR	クラウド
DX & SI事業	✓ データサイエンス案件拡大	✓ ECサイト構築 ✓ SAP※1 ✓ mieHR (HRM)	✓ MaaSデータプラット フォーム	✓ Office DX －顔認証打刻－	✓ SI開発での適用拡大 ✓ SAP※1
		✓ オフィス・キャッシュレス決済			
BankNeo (パッケージ事業)	✓ 「BankNeo for CRM/SFA」	✓ 預り管理 ✓ 電子帳票 ✓ 営業生産性向上支援 非対面/事務効率機能強化		パッケージ機能への適用	✓ 「SMART BankNeo」
GAKUEN (パッケージ事業)	✓ 経営意思決定支援(BI) ✓ IR	✓ スマホアプリ ✓ E-learning ✓ 教科書選定DBとの連携	✓ 学内電子マネー	✓ パッケージ機能AI化	✓ GAKUEN サブスクリプション
	教育ビッグデータ	卒業生向けサービス	ブロックチェーン活用	パッケージへの追加適用	
医療ビッグデータ 事業	✓ 月間レセプト処理数拡大 ✓ データ利活用サービス拡大 ✓ メディカルビッグデータ サービス「REZULT」	✓ Webサービス「iBss」 ✓ 重症化予想モデル BtoBtoC商材		✓ アカデミア連携 ✓ AI健康経営支援 レセプト処理のAI化	✓ クラウド版 レセプト点検
グローバル事業		✓ SAP※1 ✓ mcframe※3			✓ AGHRM ✓ SAP※1
・アライアンス ・社内ベンチャー による新規事業創出	✓ 共創DXサービス「MDP」 ✓ 産学官連携 ※未来共創Lab	Z世代学生向け新サービス ※パッケージ事業		生成AIの事業活用 ※DX&SI事業 ノーコード開発	

2. 本業DX（10） 人的資本を高める活動

健康経営推進

健康経営優良法人
(大規模法人部門)

3 年連続認定

長時間勤務撲滅
JAST独自労務施策

「カエル！JAST」

ストレスチェック
受検促進

受検率 90 %以上の継続
(2023.3通期実績93.2%)

勤怠データ分析による
心身高リスク者
ピックアップ&フォロー

健康教育の充実

- ① 集団教育研修
 - ・ 健康管理研修
 - ・ 女性活躍支援フォーラム
- ② 健康イベント
 - ・ 「ウォーキングイベント」
 - ・ 「機能改善ストレッチ講習」
 - ・ 「卒煙イベント」
- ③ 産業医・保健師との個別面談

定期健康診断・人間ドック
受診促進

- ① 定期健康診断受診率
100 %の継続
- ② 再検査受診率
100 %
へ向けた取り組み継続
(再検査受診率：2023.3通期実績84.6%)

DX人財育成

SAP※1 認定資格者数

取得資格総計 262
資格取得者 90 名

(2023年11月末時点)

DX人財開発集合研修

16 カテゴリ
101 コース

(2024.3期2Q累計実績、開催日数)

社内認定資格 「JCPL」

初級 528 人

中級 105 人

(2010.3～2023.3期 認定取得者数累計)

DX関連外部e-Learning
受講キャンペーン

13 カテゴリ
24 コース

(2024.3期2Q累計実績)

JCPL：JAST Certified Project Leaderの略。

JAST流プロジェクトマネジメントにおける社内独自の認定資格

更なるホワイト化推進

平均年次有給休暇

取得率 66.3 %
取得日数 10.8 日

(2023.3通期実績)

平均残業時間

(月平均所定外労働時間)
17.6 時間

(2023.3通期実績)

育休取得者

28 人
うち男性 7 人

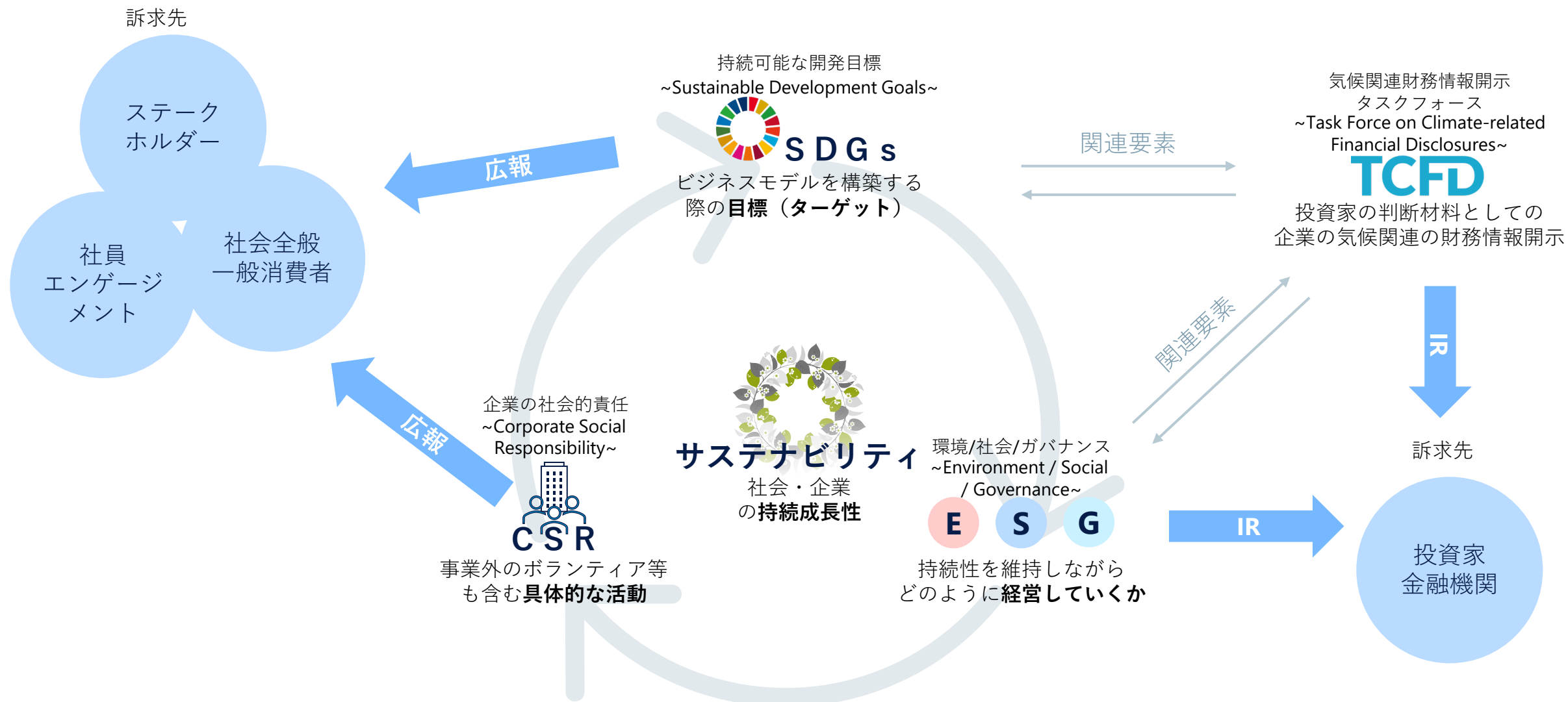
(2023.3通期実績)

育休明け時短勤務

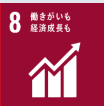
最長 9 年
(法定の 1.5 倍)

3. サステナビリティへの取り組み（1）全体方針

持続成長へ向けた企業活動を、適切な開示により各ステークホルダーへ訴求

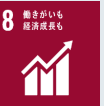


3. サステナビリティへの取り組み（2）SDG sの取り組み（本業活動）

重要課題	事業分野	内容	SDGsテーマ
産業とICTの イノベーション	当社事業全般	➢ 情報化の創造・提供による社会貢献 ➢ 産業構造の変革をICTでサポート ➢ 共創・共同体制の構築、エコシステムの変革に貢献 ➢ グループ会社、パートナー会社との連帯	
ICTを活用した 学習活動のサポート	GAKUEN	➢ 大学の未来を創るトータルソリューションの提供 ➢ ICTを活用した質の高い授業支援、テクノロジーを活用した教育 ➢ 教育ビッグデータ活用による教育の質向上支援 ➢ リカレント教育（生涯学習）環境の実現 ➢ 教育のデジタル化を実現するAI、IoTの研究開発 ➢ Z世代向け新サービスの提供	  
医療費の適正化と 健康増進への貢献	医療ビッグデータ 事業	➢ 医療ビッグデータの活用による「保険者様に向けた医療費の適正化と加入者様の健康増進」を推進 ➢ アカデミア等との共同研究による「感染症等の疾病、医療問題への課題解決」に貢献 ➢ 医療ビッグデータをオープンデータとして一般公開	 
情報系統合パッケージによる 金融業務の効率改善	BankNeo	➢ 金融機関の情報系統合パッケージビジネスによる社会貢献	 
デジタル化の促進により企 業の改革に貢献	DX & SI事業	➢ 社員食堂やオフィス内でのキャッシュレスサービス ➢ 人材データプラットフォーム「mieHR」 ➢ Office DX -顔認証打刻-	  

※弊社コーポレートサイト「[SDG sの取り組み](#)」からの抜粋

3. サステナビリティへの取り組み（3）SDG sの取り組み（経営管理）

重要課題	事業分野	内容	SDGsテーマ
健康経営への取り組み	健康経営	➤ 「健康経営」の推進 ➤ 定期健康診断・人間ドックの受診促進 ➤ 長時間勤務撲滅 ➤ コミュニケーション促進に向けた取り組み（イベント等） ➤ 心身の健康増進	 
学びの機会提供	育成・教育	➤ 社内研修制度の充実（社内認定資格の運用等） ➤ インターンシップ（学生向けにシステムエンジニアの職業体験を提供） ➤ システム開発を通じた教育・学習支援	
ダイバーシティへの取り組み	採用・処遇	➤ 人種・国籍・性別等にとらわれない採用と公正な処遇 ➤ 多様な働き方を支える社内諸制度 ➤ 株式会社エスプールプラス様運営「わーくはぴねす農園」との契約	  
環境負荷の低減	経営管理全般	➤ オフィスDX推進によるペーパーレス化への取り組み ➤ オフィスやデータセンター等での環境問題対策への取り組み	 

4. キャッシュアロケーション

※期間累計営業キャッシュフロー

成長投資

提供価値強化

M&A・アライアンス

R&D・新事業開発

技術人財開発

マルチアライアンス

採用・育成投資

経営管理DX

株主還元（配当金等）

適正現預金の確保

現有市場での新機軸

JASTブランド：同市場・同業者、DX&SI事業：川下のSI事業者等

市場拡張

JASTブランド：隣接市場・異種サービス事業者、その他：ベンチャーとの資本提携含むアライアンス

新事業シーズ発掘及び特定シーズへの重点投資

先端技術・ディープテック分野はアライアンスを活用し広いリーチを目指す

多様性採用・プロフェッショナル高度化・技術人財の育成採用

意思決定基盤を継続的アップデートしアジャイル経営に寄与

SR（Shareholder Relation）の強化・時価総額向上

時価総額400-500億円（Micro-cap⇒Small-cap）へ向け、
利益成長のスピードと成長投資のバランスを考慮の上、総合利回りの拡大施策を積極展開

利益成長によるキャッシュフロー強化・適正なCCCの継続

ブランド事業ビジネスモデル（キャッシュポイント）の多様化、SE単価向上、ソリューションビジネス拡大による一層の財政健全化。成長投資の積極化と安全性の高い経営を両立

※2023.3期末時点手元資金（現預金・売掛金）＋{中期計画（2024.3-2026.3）から営業利益＋研究開発費＋非現金支出費用}を用いて計画

※3色の波括弧 } はそれぞれ成長投資・株主還元・適正現預金の分配割合のイメージ

Contents

- I. 2024.3期 2Qサマリー
- II. 業績概況
- III. 当期業績予想と直近の取り組み
- IV. 長期成長戦略
- V. Appendix**

V. Appendix

1. 企業情報

社名	日本システム技術株式会社
	Japan System Techniques Co., Ltd. (略称 JAST)
上場市場	東京証券取引所プライム市場（証券コード：4323）
設立	1973年3月26日
資本金	15億3,540万円（2023年 9 月30日現在）
所在地	大阪本社〔本店〕 大阪市北区中之島二丁目3番18号（中之島フェスティバルタワー29階）
	東京本社 東京都港区港南二丁目16番2号（太陽生命品川ビル27階）
代表者	代表取締役社長 平林 武昭
従業員数	連結：1,917名（2023年9月30日現在）
系列	なし（完全独立系）
拠点	大阪、東京、シンガポール、タイ、マレーシア、インド、中国

事業 セグメント	1. DX&SI事業 2. パッケージ事業 3. 医療ビッグデータ事業 4. グローバル事業
各種資格	・ プライバシーマーク認定 ・ ISO9001 登録事業者 ・ ISO14001 登録事業者 ・ ISO27001 登録事業者 ・ ISO20000 登録事業者※ ・ 健康経営優良法人2023
各種 認証マーク	

※当社ヘルスケアイノベーション事業部で登録

2. グループ一覽



★ **桂林安信軟件有限公司**
中国（広西チワン族自治区桂林市）
★オフショア開発拠点 ★中国国内拡販拠点

★ **上海嘉峰信息科技有限公司**
中国（上海市）
★中国の開発兼プロダクト販売拠点

★ **JASTEC(THAILAND) CO., LTD.**
タイ（バンコク）
★現地日系企業向けITサービス

★ **JAST Asia Pacific CO., LTD.**
タイ（バンコク）
★ASEANでのJASTブランド展開

★ **Bright & Better Co., Ltd.**
タイ（バンコク）
★統合パッケージソフト導入コンサルティング
ソフトウェア受託開発

★ **Virtual Calibre グループ（4社）**
マレーシア（クアラルンプール近郊）
インド（チェンナイ）
★SAP事業展開

★ **AG NET PTE. LTD.**
シンガポール
★HRM事業展開



大阪本社

東京本社

★ **大阪本社**
大阪市北区中之島二丁目3番18号
中之島フェスティバルタワー28・29階

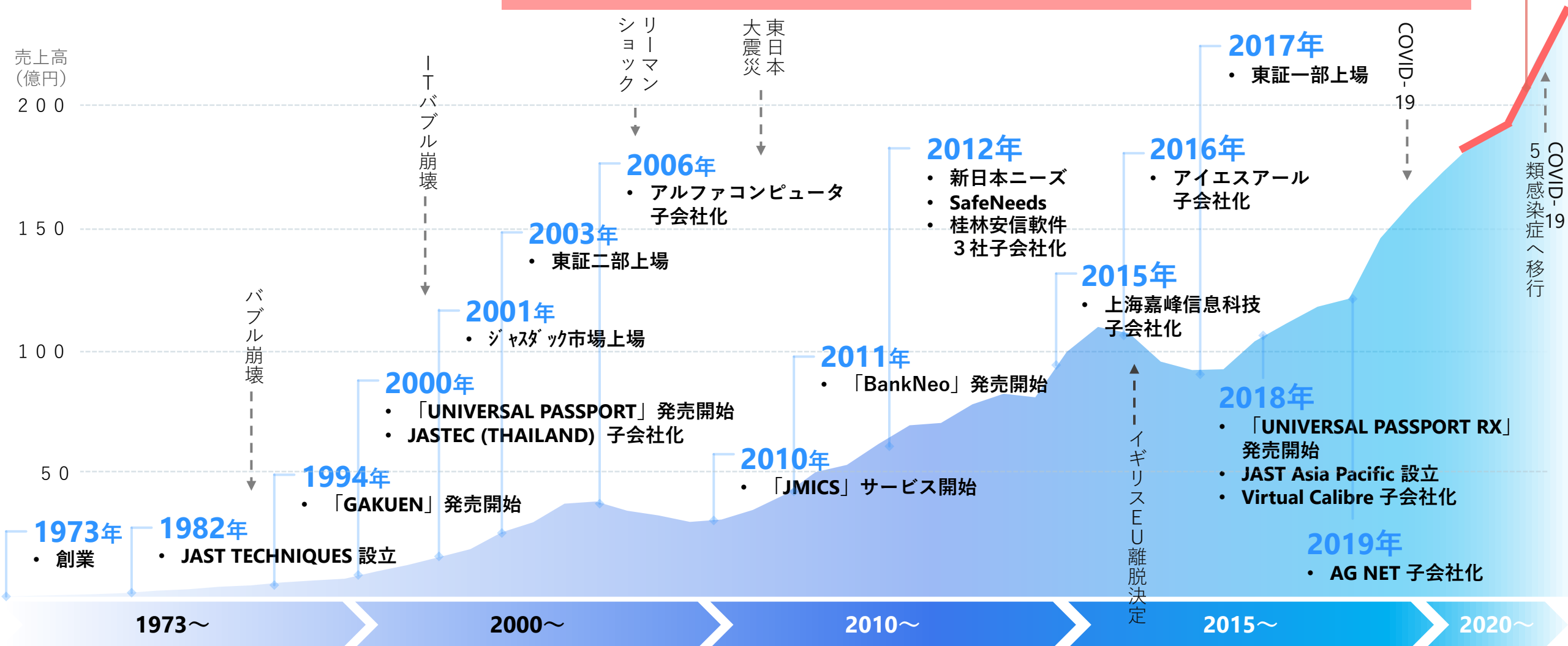
★ **株式会社新日本ニーズ**
大阪市
★地域密着型ITサービス

★ **東京本社**
東京都港区港南二丁目16番2号
太陽生命品川ビル5・26・27階

★ **アルファコンピュータ株式会社**
東京都品川区
★マルチベンダITインフラ設計

★ **株式会社アイエスアール**
東京都千代田区
★受託開発、パッケージ開発・販売

3. 沿革



4. 事業内容（1）事業一覧

DX&SI事業

受託開発・開発支援・ ソリューション開発・導入

完全独立系の強みを活かし、
幅広い分野に渡り多種多様な
情報システム/サービスを提供

◆SI

幅広い業界・ビジネス領域へ
システム開発を提供

◆ソリューション

自社開発及び協業ソリュー
ションの構築・運用・分析・
関連システム開発

◆サービス

コンサルティング・データ
サイエンス・クラウド基盤構築
から運用保守、データ分析・
活用等

<JASTブランド製品>

・人材データプラットフォーム



- ・社内向けキャッシュレスサービス
- ・Office DX - 顔認証打刻 -

パッケージ事業

自社パッケージソリューション 開発販売

自社開発のブランド製品の開発・販売と
導入コンサルティングを中心に、
関連する環境構築やシステム開発を提供

◆GAKUEN

国内トップシェア（全国400校以上
の大学、短期大学が導入）の大学
向け総合パッケージシステム。
「GAKUENシリーズ」の開発・
販売と導入・コンサルティング



◆BankNeo

金融機関向けパッケージ
ソリューション「BankNeo」の
開発・販売・導入。
2021年にはメガバンクでもご採用。
現在の総ユーザ数は59金融機関。



医療ビッグデータ事業

医療情報データの点検分析及び 関連サービス

複数のヘルスケア事業を展開し、
医療データ利活用と保険者業務改革を
推進するワンストップサービスを提供

◆レセプト自動点検システム



◆保険者業務支援サービス



◆生活保護向けレセプト管理 システム



◆データヘルス事業

◆データ利活用



グローバル事業

アジア・パシフィック地域を中心 としたグローバルDXビジネス

海外5カ国にグループ企業をもち、
ERPやHRM製品の開発・販売・導入
コンサルティングとシステム開発を提供

◆展開国



◆事業内容

- ・SAP※1導入コンサルティング
及び関連サービス
(マレーシア、インド)
- ・ERP導入及び
関連サービス開発 (タイ)
- ・クラウド型HRMソリューション
“AGHRM®”開発 (シンガポール)
- ・オフショア開発 (中国 桂林)



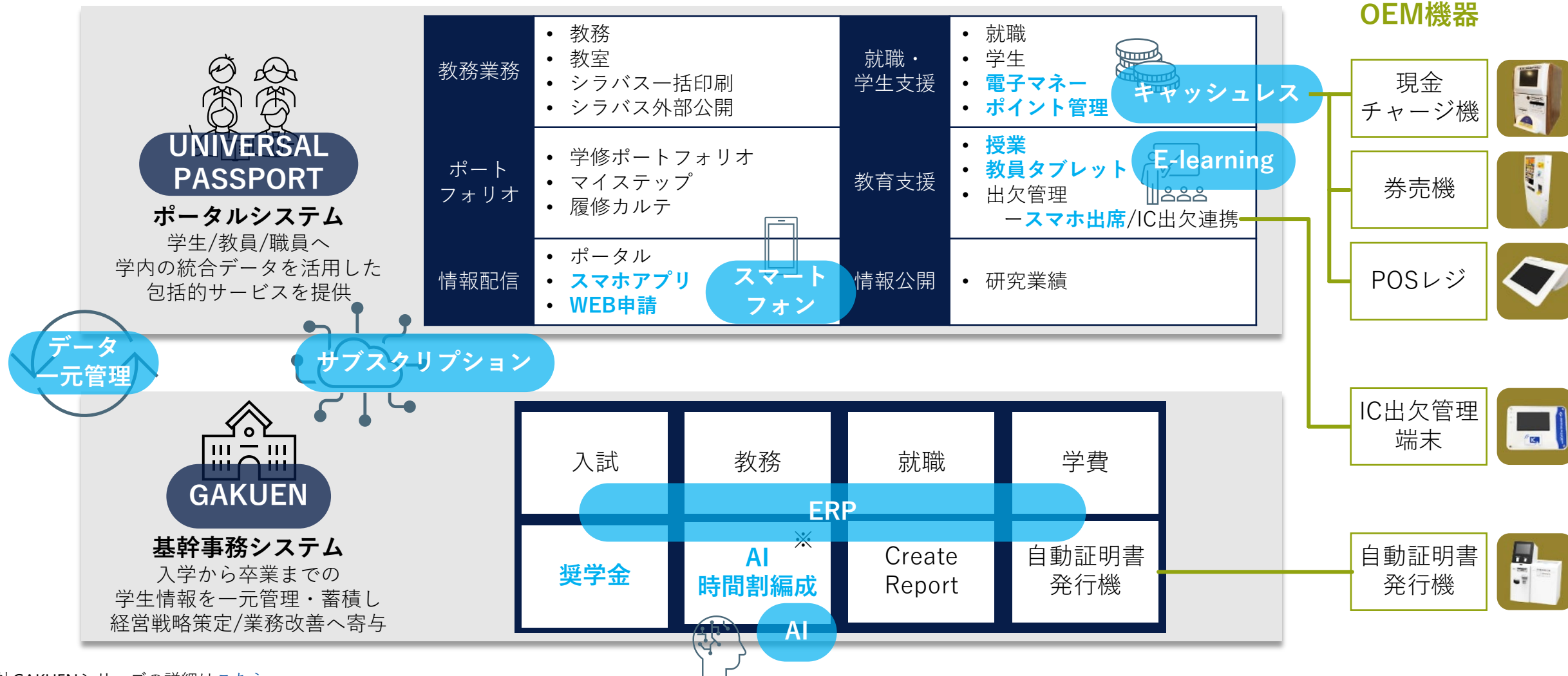
4. 事業内容（2）JASTブランド：GAKUEN

導入実績444校を突破したトップブランド
高等教育機関の活動を包括的に支援する統合プラットフォーム

DX主要テーマ

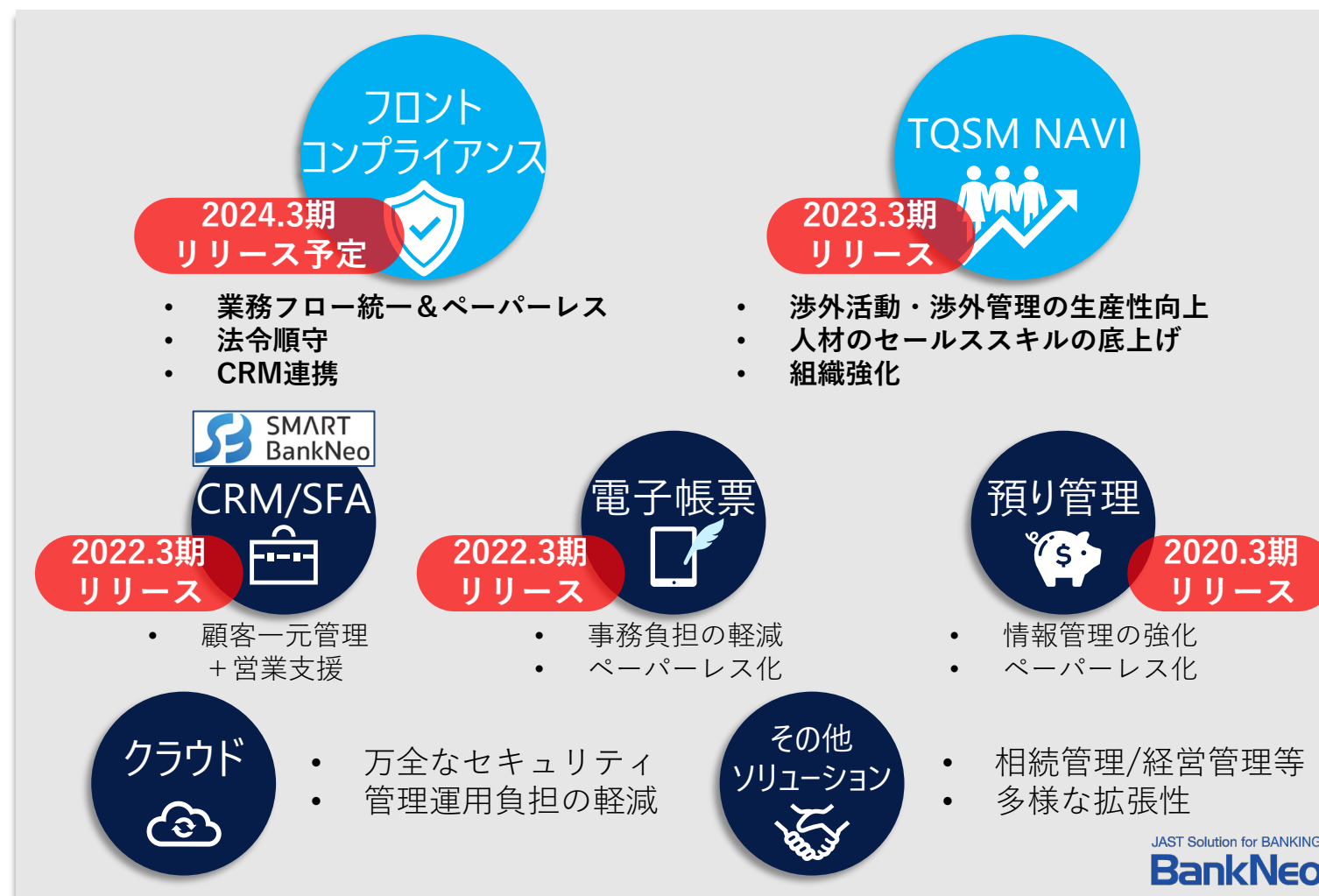
※：開発中

OEM機器



4. 事業内容（3）JASTブランド：BankNeo

導入容易性と拡張性を活かした**スマート&ニッチソリューション**を豊富に展開
金融機関のDXを推進する統合パッケージ



- 全国の金融機関で多数の導入実績
- スモールスタートによる導入容易性
- 導入後の高い拡張性
- 30年を超えて蓄積した豊富なノウハウ
- 顧客ニーズを捉えたサービスラインナップ

4. 事業内容（4）JASTブランド：JMICS

月間レセプト処理数700～1000万枚、大量の医療データを活用し、
保険者業務支援から分析・事業コンサル・保健事業実行までトータルに支援

給付・適用関連サービス

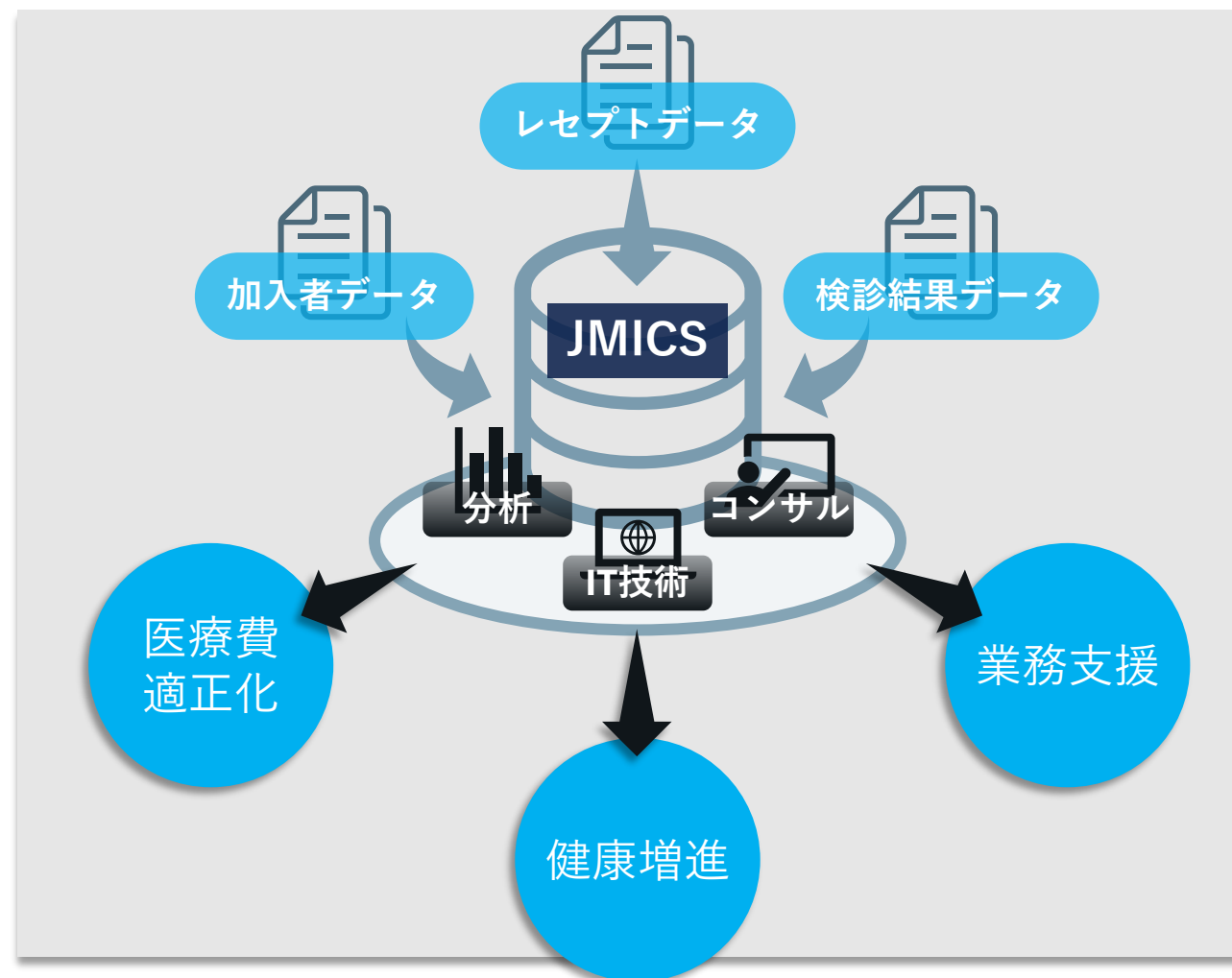
システムを利用したレセプト点検と被扶養者調査や補助金申請支援

- ・点検業務【JMICS】
 - レセプト点検
 - 海外療養費点検、柔整点検
- ・Web申請【iBss】
 - 被扶養者調査システム（検認）
 - 各種申請（インフルエンザ予防接種補助金）

通知サービス

医療費適正化に向けた対象者抽出と是正通知

- ・WEB通知
- ・ジェネリック医薬品使用促進通知
- ・重複・頻回受診者抽出、是正通知
- ・医薬品重複投与者抽出、是正通知
- ・受診勧奨通知発送
- ・その他、受療行動適正通知 etc.



医療費分析サービス

レセプト、健診データを中心に各種保健事業や介護データにも対応

- ・データヘルス策定から実行までのトータルサポート
- ・レセプト/健診データ分析
- ・保健事業の実施効果分析
- ・各種分析レポート、ベンチマーク
- ・GISを活用した地域別医療費分析
- ・介護データの分析

保健指導サービス

保健師、管理栄養士、看護師等による保健指導

- ・対象者の抽出業務
- ・生活習慣病重症化予防
- ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム
- ・特定保健指導（対面・ICT）
- ・適正受診指導（重複、頻回等）

5. 理念先行経営

創業来、道経一体思想（経営の品質は人の品質に尽きる）のもと
「はじめに理念ありき」の理念先行経営を貫徹

天爵を修めて人爵これに従う

基本精神

不断に道義・原理原則を実行し、人格・品性・徳を高めることで
尊敬/信頼される品格を備えた人に自然的に与えられる位

業績や経験に基づき団体や上司から与えられた
人為的/便宜的な外見上の位階

先に人爵を与えられることで、あたかも自分は天爵も得たものと錯覚する。一人ひとりが
まず「天爵を修める」ことを、経営活動・人材育成における究極のテーマとしています

経営方針

完全独立系の立場を堅持

目の前のお客様と本質的に向き合うため、**一切の制
約無く自由な立場で挑戦できる**、完全独立系の立場
を堅持しています。**あらゆる産業・技術分野で蓄積
した成果と知見**が、今のJASTの強さとなっています

四方良し

お客様、株主、社員、社会とwin-winの関係を築く
べく「**四方良し**」の理念を掲げます。各ステークホル
ダの価値を最大化し、総体としての企業価値を高
めることで、**長期安定成長を追求**しています

「人づくり」経営

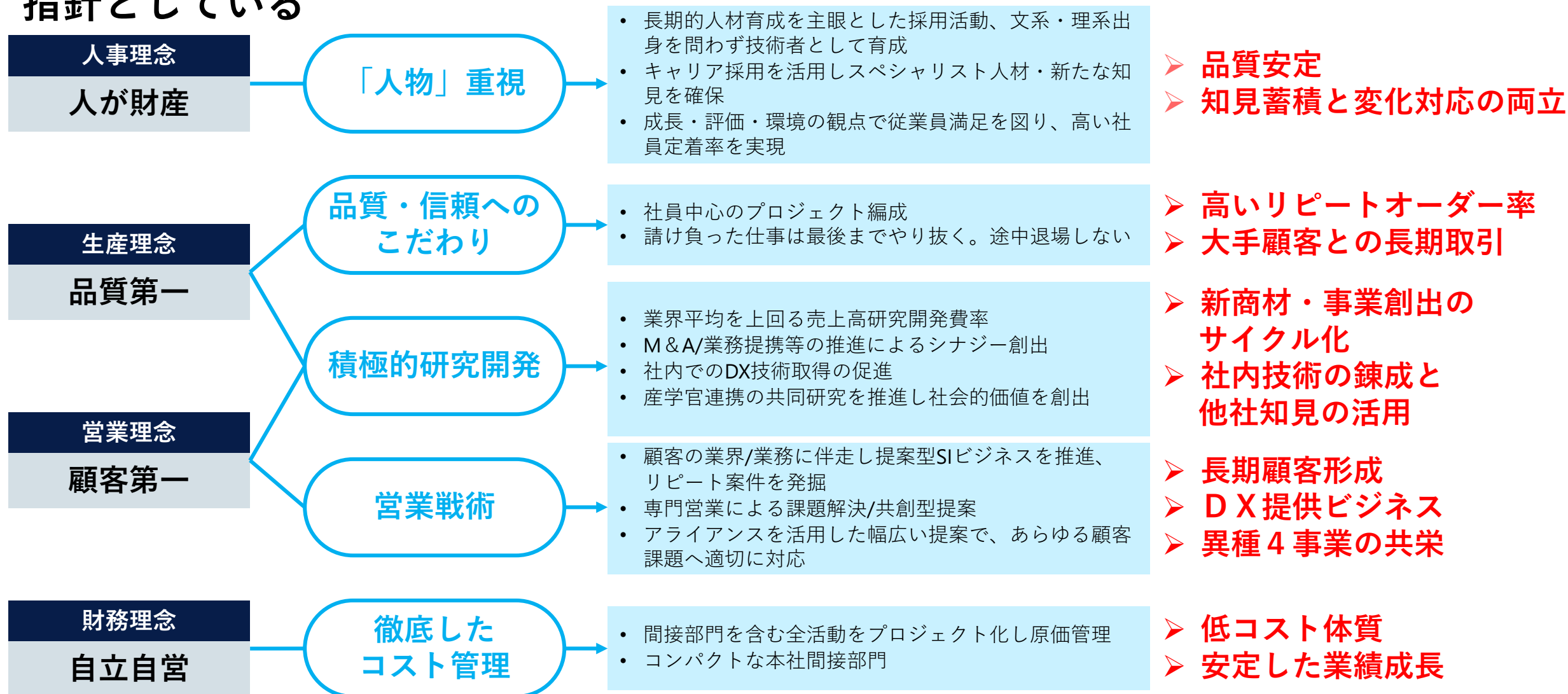
人間力の研鑽が何よりも先行すべきである、との信
念に基く「**人づくり**」経営で、企業成長の原動力で
ある**情報技術への情熱とお客様への誠心誠意のサー
ビス**をJASTの個々人に育みます

不易流行

松尾芭蕉の確立した「**不易流行**」（本質的なものを
守りつつ、新しい変化を取り入れ、価値を創造する
こと）の理念に則り、**一貫した経営理念＝「不易」
で変わる経営＝「流行」**を正しくリードします

6. 経営方針

経営方針を人事・生産・営業・財務の4つの理念に落とし込み、長期安定成長への指針としている



ご清聴ありがとうございました



未来を、仕掛ける。

日本システム技術株式会社
<https://www.jast.jp/>

お問い合わせ
<https://www.jast.jp/contact/>

【注意】

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。なお、特に注記のない限り、業績に係る数値等は全て連結ベースで記載しております。

【商標】

- ※ 1 : SAP及びSAPロゴ、SAP製品は、ドイツ及び世界各国におけるSAP AGの商標または登録商標です。
- ※ 2 : Salesforce 及び Salesforce ロゴはSalesforce.com,inc.の登録商標です。
またその他サービス名もSalesforce.com,inc.の登録商標または商標です。
- ※ 3 : mcframeのロゴ及びその他すべてのmcframeの製品、機能、サービス名は、ビジネスエンジニアリング株式会社の登録商標または商標です。
- ※ 4 : GLOVIA smart PRONES 及びGLOVIA smart製品は、日本及びその他の国における富士通株式会社の登録商標または商標です。
- ※ 5 : RezeptPlus及びRezeptPlusロゴは富士通Japan株式会社の登録商標です。